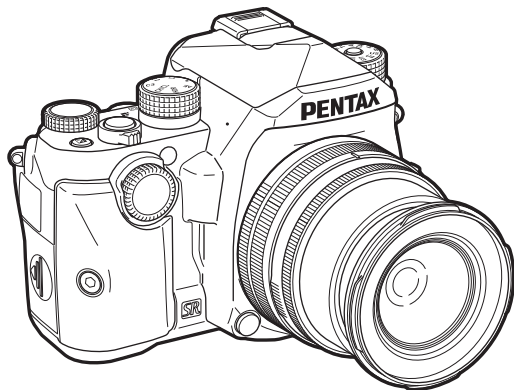


RICOH

デジタル一眼レフカメラ

PENTAX *KP*

使用説明書



基礎知識 1

準備 2

撮影 3

再生 4

共有 5

設定 6

付録 7

カメラの正しい操作のために、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出てい、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて



警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出てい、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC109で充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとする、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

警告

- ・バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

注意

- ・本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- ・バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- ・万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- ・バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- ・バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- ・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ・発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

警告

- ・カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 3. バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

KPの基礎知識

1

準備しましょう

2

いろいろな写真を撮影してみましょう

3

いろいろな再生と編集

4

画像を共有する

5

設定を変更する

6

付録

7

1

KPの基礎知識 p.9

KPの全体像を紹介しています。

まずここを読んでKPを知ろう！

- ☐ 同梱品を確認しましょう p.9
- ☐ 各部の名称と機能 p.10
- ☐ 撮影情報の表示 p.13
- ☐ 機能の設定方法 p.20
- ☐ メニュー一覧 p.24

2

準備しましょう p.36

KPを使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- ☐ ストラップの取り付け p.36
- ☐ レンズの取り付け p.37
- ☐ バッテリーのセット p.38
- ☐ メモリーカードのセット p.40
- ☐ 画像モニターの角度調節 p.41
- ☐ 初期設定 p.42
- ☐ 撮影のキホン p.44
- ☐ 画像の確認 p.47

3

いろいろな写真を撮影してみましょう ..p.48

カメラが正しく動作することが確認できたら、

たくさん写真を撮ってみよう！

- ☐ 記録方法を設定する p.48
- ☐ 静止画を撮影する p.48
- ☐ 動画を撮影する p.52
- ☐ 露出を設定する p.54
- ☐ フラッシュを使用する p.57
- ☐ フォーカスモードを設定する p.59
- ☐ ドライブモードを設定する p.64
- ☐ ホワイトバランスを設定する p.72
- ☐ 仕上がりイメージを決めて撮影する p.74
- ☐ 補正して撮影する p.76

いろいろな再生と編集..... p.81

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- ☐ 再生モードパレットの設定項目 p.81
- ☐ 再生方法を変更する p.82
- ☐ 画像を加工・編集する p.86

画像を共有する p.92

パソコンや通信端末と接続してKPを操作したり、画像を利用する方法を説明しています。

- ☐ パソコンで利用する p.92
- ☐ 通信端末で利用する p.93

設定を変更する p.102

その他の設定変更を掲載しています。

- ☐ カメラの設定 p.102
- ☐ 画像管理に関する設定 p.110

付録 p.115

資料を掲載しています。

- ☐ 特殊機能の組み合わせ制限 p.115
- ☐ 各種レンズ使用時の機能 p.116
- ☐ 外付けフラッシュ利用時の機能 p.120
- ☐ GPSユニットを利用する p.121
- ☐ 困ったときは p.123
- ☐ 主な仕様 p.126
- ☐ 索引 p.132
- ☐ 取り扱い上の注意 p.136
- ☐ アフターサービスについて p.139

本書の使い方4

KP の基礎知識 9

同梱品を確認しましょう 9

各部の名称と機能10

ボタン・ダイヤル・レバー11

撮影情報の表示13

画像モニター13

ファインダー19

電子水準器20

機能の設定方法20

ダイレクトキーで設定する20

スマートファンクションで設定する21

コントロールパネルで設定する21

メニューで設定する23

メニュー一覧24

撮影メニュー24

動画メニュー29

再生メニュー31

詳細設定メニュー32

カスタムメニュー34

準備しましょう36

ストラップの取り付け36

レンズの取り付け37

バッテリーのセット38

バッテリーを充電する38

バッテリーを入れる39

ACアダプターを使用する40

メモリーカードのセット40

画像モニターの角度調節41

初期設定42

電源を入れる42

言語を設定する42

日時を設定する43

画面表示を設定する43

メモリーカードをフォーマットする44

撮影のキホン44

ファインダーを使って撮影する44

ライブビュー画像を見ながら撮影する46

画像の確認47

いろいろな写真を撮影してみましょう....48

記録方法を設定する48

静止画の記録設定48

動画の記録設定48

静止画を撮影する48

露出モードで撮影する49

電子シャッターを利用する52

動画を撮影する52

動画の再生54

露出を設定する54

ISO感度54

露出補正56

測光方式57

フラッシュを使用する57

フォーカスモードを設定する59

ファインダー撮影のオートフォーカスの設定59

ライブビュー撮影のオートフォーカスの設定61

AF位置を微調整する63

ドライブモードを設定する64

連続撮影65

セルフタイマー65

ブラケット撮影66

被写界深度ブラケット67

モーションブラケット68

ミラーアップ撮影69

多重露出	69
インターバル撮影	70
ホワイトバランスを設定する	72
マニュアルでホワイトバランスを調整する	73
色温度でホワイトバランスを調整する	73
仕上がりイメージを決めて撮影する	74
カスタムイメージ	74
デジタルフィルター	75
補正して撮影する	76
明るさを補正する	76
レンズ特性を補正する	77
画質・質感を補正する	78
構図を補正する	80
いろいろな再生と編集	81
再生モードパレットの設定項目	81
再生方法を変更する	82
複数画像を表示する	82
フォルダーごとに表示する	83
撮影日ごとに表示する	83
連続して再生する	84
画像を回転して表示する	84
AV機器と接続する	85
画像を加工・編集する	86
画像のサイズを変更する	86
色モアレを補正する	87
デジタルフィルターで加工する	87
動画を編集する	89
RAW画像を展開する	90
画像を共有する	92
パソコンで利用する	92
接続モードを設定する	92
メモリーカードの画像をコピーする	92
パソコンから本機を操作する	93
通信端末で利用する	93
Wi-Fi™を有効にする	93
通信端末で操作する	94

設定を変更する	102
カメラの設定	102
ボタン/ダイヤルをカスタマイズする	102
画像モニターとランプを設定する	107
よく使う設定値を登録する	108
カメラに保存する設定を選択する	110
画像管理に関する設定	110
画像を消去できないようにする	110
フォルダー/ファイルを設定する	111
著作権情報を設定する	113
目的地の日時を表示する	114
付録	115
特殊機能の組み合わせ制限	115
各種レンズ使用時の機能	116
絞りリングの使用を許可する	118
キャッチインフォーカスで撮影する	119
レンズ焦点距離を入力する	119
外付けフラッシュ利用時の機能	120
GPSユニットを利用する	121
天体を撮影する	121
困ったときは	123
センサーのクリーニング	124
エラーメッセージ	125
主な仕様	126
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	131
索引	132
取り扱い上の注意	136
アフターサービスについて	139

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。
- 本機の手ぶれ補正機構 SR (Shake Reduction) は、ペンタックス独自の方式でCMOSセンサーを磁力によって高速で移動させ、ぶれを補正する機構になっています。構図の変更などでカメラを振ると音がしますが、故障ではありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

同梱品を確認しましょう



ホットシューカバー Fk
(カメラ装着)



アイカップ Fr
(カメラ装着)



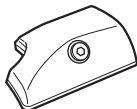
ボディマウントキャップ KII
(カメラ装着)



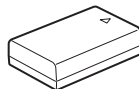
三角環・キズ防止カバー
(カメラ装着)



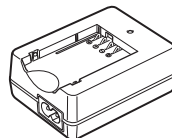
バッテリーグリップ接点カバー
(カメラ装着)



グリップ S O-GP167
(カメラ装着)



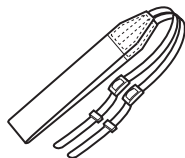
充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI109



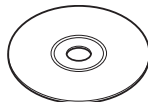
バッテリー充電器
D-BC109



ACコード
D-CO2J



ストラップ
O-ST162



ソフトウェア (CD-ROM)
S-SW167



使用説明書 (本書)



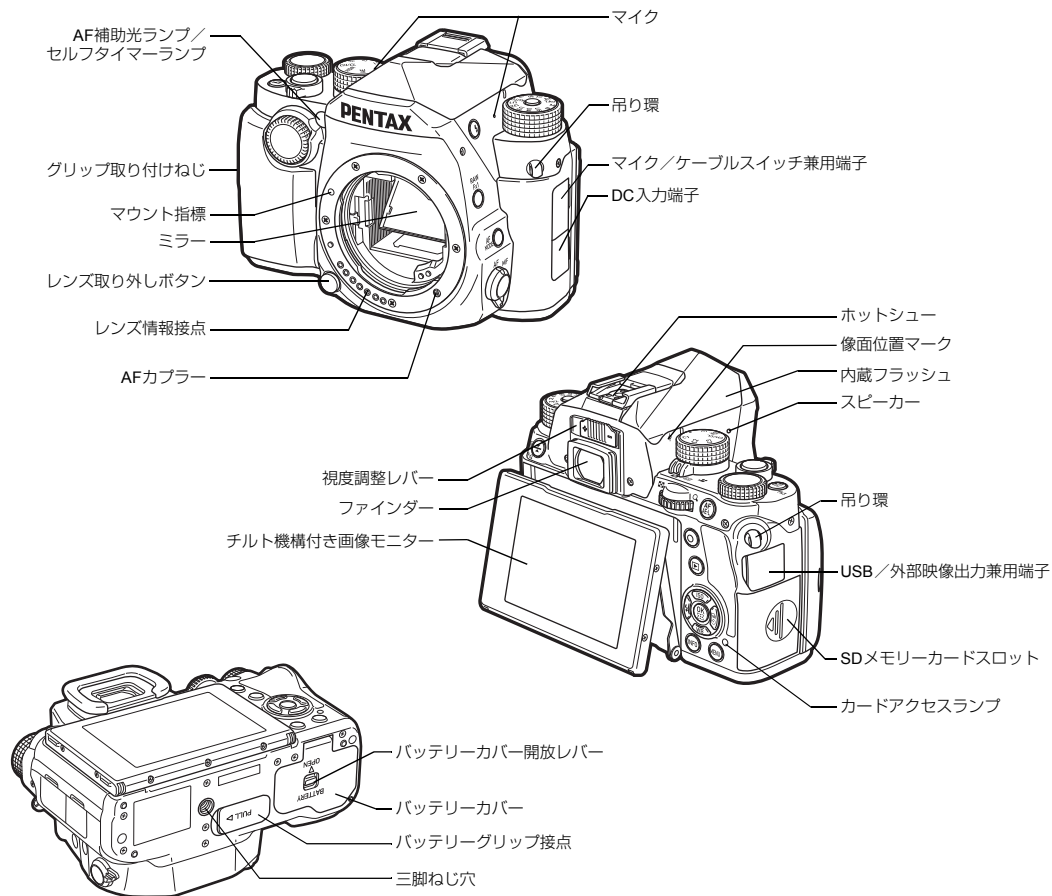
保証書

使用できるレンズ

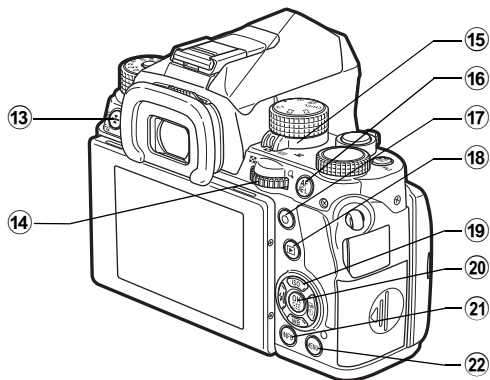
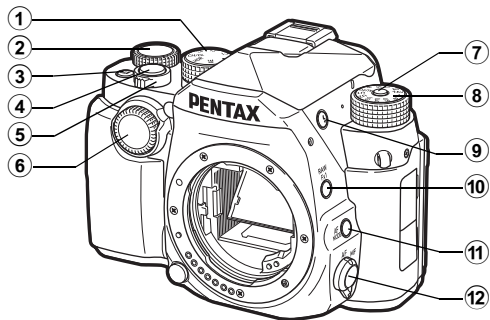
本機で使用できるレンズは、DA/DA L/D FA/FA J/FAまたは絞り **A** (オート) 位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリを使用するときは、本書のp.116を参照してください。

各部の名称と機能

1 基礎知識



ボタン・ダイヤル・レバー



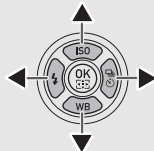
- ① **機能ダイヤル**
スマートファクションで設定する機能を選択します。
(p.21)
C1／C2／C3には、機能が割り当てられます。(p.105)
- ② **設定ダイヤル**
機能ダイヤルで選択した機能の設定を変更します。(p.21)
- ③ **露出補正／Fx3ボタン (Z/Fx3)**
露出補正值を変更するときに押します。(p.56)
機能を割り当てて使用することもできます。(p.102)
再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存します。(p.47)
- ④ **シャッターボタン (SHUTTER)**
画像を撮影します。(p.45)
再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ⑤ **電源レバー**
電源のON／OFFを切り替えます。(p.42)
- ⑥ **前電子ダイヤル (☀)**
露出などの設定値を変更します。(p.49)
メニューが表示されているときは、メニューのカテゴリーを切り替えます。(p.23)
再生モード時は、画像を切り替えます。
- ⑦ **モードダイヤルロックボタン**
モードダイヤルを回すときに押します。(p.45)
- ⑧ **モードダイヤル**
撮影モードを切り替えます。(p.45、p.48)
- ⑨ **フラッシュポップアップボタン (F)**
内蔵フラッシュをポップアップさせます。(p.58)
- ⑩ **RAW／Fx1ボタン (F1)**
一時的に記録形式を変更するときに押します。(p.103)
機能を割り当てて使用することもできます。(p.102)
- ⑪ **AFモードボタン (AF MODE)**
AFモード／AFエリアを変更するときに押します。(p.60、p.62)
- ⑫ **フォーカスモード切替レバー (AF/MFレバー)**
フォーカスモードを切り替えます。(p.59)

- 13 電子水準器／消去／Fx2ボタン ( /  / Fx2)
ファインダー内／ライブビューの電子水準器表示のオン／オフを切り替えます。(p.20)
再生モード時は、画像を消去します。(p.47)
機能を割り当てて使用することもできます。(p.102)
- 14 後電子ダイヤル ()
露出などの設定値を変更します。(p.49)
メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。(p.23)
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。(p.21)
再生モード時は、画像を拡大／複数画像表示します。(p.47、p.82)
- 15 静止画／LV／動画切替レバー ( / LV /  レバー)
Ⓐ (静止画) モードのファインダー撮影とライブビュー撮影、Ⓑ (動画) モードを切り替えます。(p.44、p.52)
- 16 AF/AEロックボタン ()
SHUTTER 半押し代わりにピントを合わせたり、撮影前の露出値を記憶します。(p.51、p.59)
- 17 グリーンボタン ()
設定中の値をリセットします。
- 18 再生ボタン ()
再生モードに切り替えます。(p.47) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。
- 19 十字キー ()
ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。(p.20)
メニュー／コントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
再生モードの1画像表示で  を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.81)
- 20 OKボタン ()
メニュー／コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。
「AFエリア」がセレクト／セレクトエリア拡大／多点オートのときに長押しすると、測距点移動モードとダイレクトキーモードが切り替わります。(p.60、p.62)

- 21 INFOボタン ()
画像モニターの表示を切り替えます。(p.13、p.17)
- 22 MENUボタン ()
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.23)

十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記します。



撮影情報の表示

画像モニター

撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。(p.44) ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。(p.46) ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.21) コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。(p.16)



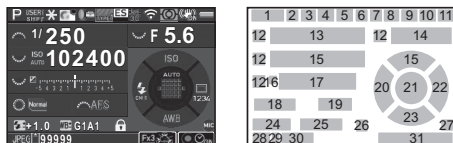
メモ

- ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの配色は、「初期設定」(p.42) で変更できます。

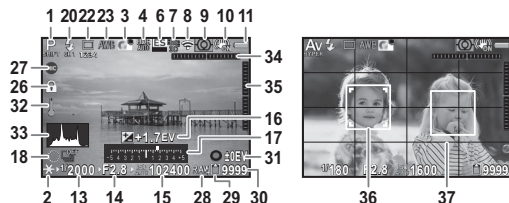
撮影待機状態

撮影時の設定などが表示されます。

ステータススクリーン



ライブビュー



- 1 撮影モード (p.48)
- 2 AEロック (p.51)
- 3 カスタムイメージ (p.74)
- 4 明瞭コントロール (p.78)
／肌色補正 (p.78) ／デジタルフィルター (p.75)
／HDR 撮影 (p.77) ／Real Resolution (p.78)
- 5 ローパスセクター (p.79)
- 6 電子シャッター (p.52)
- 7 GPS測位状態 (p.121)
- 8 Wi-Fi™接続状態 (p.93)
- 9 測光方式 (p.57)
- 10 Shake Reduction ／自動水平補正／Movie SR／構図微調整 (p.80)
- 11 バッテリー残量
- 12 電子ダイヤル操作ガイド
- 13 シャッター速度
- 14 絞り値
- 15 ISO感度 (p.54)
- 16 露出補正 (p.56) ／ブラケット撮影 (p.66)
- 17 露出バー
- 18 スマートファンクション操作ガイド (p.21)
- 19 フォーカスモード (p.59)
- 20 フラッシュモード (p.57) ／ワイヤレスモードチャンネル (p.120)
- 21 測距点 (p.60)
- 22 ドライブモード (p.64) ／多重露出／インターバル撮影撮影回数
- 23 ホワイトバランス (p.72)

- 24 フラッシュ光量補正 (p.57)
- 25 ホワイトバランス微調整 (p.72)
- 26 キーロック (p.51)
- 27 ケーブルスイッチ端子 (p.53)
- 28 記録形式 (p.48)
- 29 メモリーカード
- 30 撮影可能枚数／記録可能時間
- 31 操作ガイド
- 32 温度警告
- 33 ヒストグラム
- 34 電子水準器 (左右の傾き) (p.20)
- 35 電子水準器 (前後の傾き) (p.20)
- 36 AFエリア「顔検出」の顔検出枠 (p.62)
- 37 グリッド表示 (p.26, p.29)

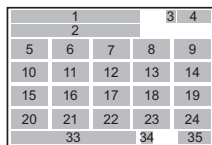
メモ

- ・ 5/ 2メニュー「ライブビュー表示」で、ライブビューの表示の設定ができます。(p.26, p.29)

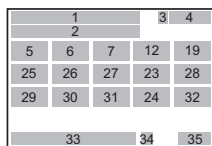
コントロールパネル

初期設定では、以下の機能が表示されます。

カメラモード



カメラモード



- 機能名称
- 設定
- メモリーカード
- 撮影可能枚数／記録可能時間
- カスタムイメージ (p.74)
- ハイライト補正 (p.76)
- シャドー補正 (p.76)
- 長秒時NR (p.50)
- 高感度NR (p.55)
- 明瞭コントロール (p.78)
- 肌色補正 (p.78)
- デジタルフィルター (p.75)
- HDR撮影 (p.77)
- Real Resolution (p.78)
- ディストーション補正 (p.77)
- 周辺光量補正 (p.77)
- 自動水平補正
- ローバスセクター (p.79)
- Shake Reduction／Movie SR
- AFモード (p.60、p.62)
- シャッターモード (p.52)
- 記録形式 (p.48)
- JPEG記録サイズ (p.48)／動画記録サイズ (p.48)
- Wi-Fi (p.94)
- AFエリア (p.60、p.62)
- フォーカスアシスト (p.61)
- 測光方式 (p.57)
- フレームレート (p.48)
- 録音レベル (p.53)
- ケーブルスイッチ端子 (p.53)
- グリッド表示 (p.29)
- AF補助投光 (p.24)

- 33 現在の日時
34 目的地 (p.114)

- 35 カスタマイズ操作ガイド (p.22)

メモ

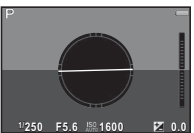
- コントロールパネルの使い方は、「コントロールパネルで設定する」(p.21)を参照してください。
- コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。(p.22)

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。



ファインダー撮影時

ステータス スクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示 (p.14)
電子水準器	カメラの傾きを表示 中央に左右方向、右側に上下方向の傾きを表示。傾きがグラフの表示範囲を超えたときは、赤で表示  (例) 左1.5° (黄) 上下傾きなし (緑)
画像モニター オフ	画像モニターを非表示
電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き(方位)、協定世界時、撮影モード、露出値を表示。電源を入れ直すと、ステータススクリーンに戻る  別売のGPSユニットを装着し、GPSユニットが動作しているときのみ選択可能 (p.121)

ライブビュー撮影時

標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示 (p.14)
電子水準器	ファインダー撮影時と同様の電子水準器を表示
情報表示なし	撮影モードやドライブモードなど、一部のアイコンを非表示

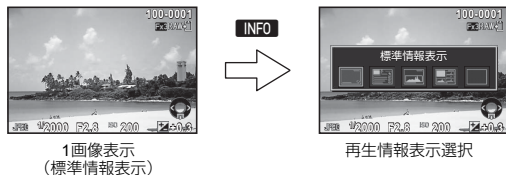
メモ

- 電源を入れ直すと、ステータススクリーンが表示されます。
 5メニュー「モードメモリ」の「撮影情報表示」をオンに設定すると、電源を入れ直したときに「撮影情報表示選択」で選択した画面から表示されます。(p.110)
- 機能ダイヤルに「情報表示切替」を割り当てると、スマートファンクションで表示を切り替えることができます。(p.21、p.105)

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。



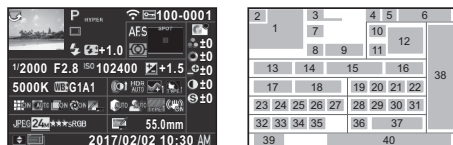
標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示 (p.17)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示 (p.18) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示 (p.18) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

●メモ

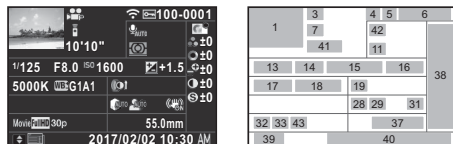
- 標準情報表示／ヒストグラム表示／情報表示なしのときに、白とび部分を赤で点滅表示することができます。**1**メニュー「画面表示」の「白とび警告」で設定します。(p.31)
- 電源を入れ直して再生モードにすると、「再生情報表示選択」で選択した画面が表示されます。**5**メニュー「モードメモリ」の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。(p.110)
- 機能ダイヤルに「情報表示切替」を割り当てると、スマートファンクションで表示を切り替えることができます。(p.21、p.105)

詳細情報表示

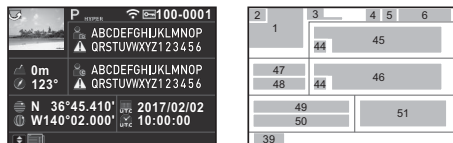
静止画



動画



2ページ目

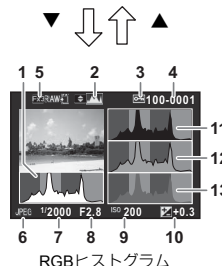
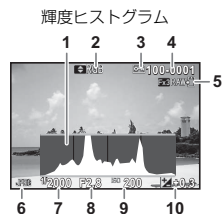


- | | |
|---------------------------|--|
| 1 撮影画像 | 12 測距点 (p.60) |
| 2 回転情報 (p.84) | 13 シャッター速度 |
| 3 撮影モード (p.48) | 14 絞り値 |
| 4 Wi-Fi™接続状態 (p.93) | 15 ISO感度 (p.54) |
| 5 プロテクト (p.110) | 16 露出補正 (p.56) |
| 6 フォルダNo.-ファイルNo. (p.111) | 17 ホワイトバランス (p.72) |
| 7 ドライブモード (p.64) | 18 ホワイトバランス微調整 (p.72) |
| 8 フラッシュモード (p.57) | 19 デジタルフィルター (p.75) |
| 9 フラッシュ光量補正 (p.57) | 20 HDR撮影 (p.77) / Real Resolution (p.78) |
| 10 フォーカスモード (p.59) | 21 明瞭コントロール (p.78) |
| 11 測光方式 (p.57) | |

- 22 肌色補正 (p.78)
- 23 ディストーション補正 (p.77)
- 24 周辺光量補正 (p.77)
- 25 倍率色収差補正 (p.77)
- 26 回折補正 (p.77)
- 27 フリンジ補正 (p.90)
- 28 ハイライト補正 (p.76)
- 29 シャドー補正 (p.76)
- 30 ローパスセレクト (p.79)
- 31 Shake Reduction / 自動水平補正 / Movie SR
- 32 記録形式 (p.48)
- 33 JPEG記録サイズ (p.48) / 動画記録サイズ (p.48)
- 34 JPEG画質 (p.48)
- 35 色空間 (p.48)
- 36 色モアレ補正 (p.87)
- 37 レンズ焦点距離
- 38 カスタマイメージ (p.74)
- 39 操作ガイド
- 40 撮影日時
- 41 記録時間
- 42 録音レベル (p.53)
- 43 フレームレート (p.48)
- 44 情報改ざん警告
- 45 撮影者名 (p.113)
- 46 著作権者名 (p.113)
- 47 高度
- 48 方位
- 49 緯度
- 50 経度
- 51 協定世界時

ヒストグラム表示

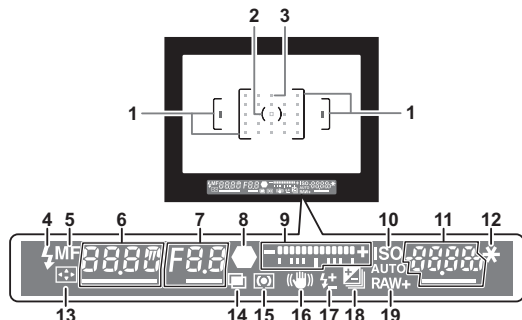
▲▼で輝度ヒストグラムとRGBヒストグラムが切り替えられます。



- 1 ヒストグラム（輝度）
- 2 RGBヒストグラム／輝度ヒストグラム切り替えプロテクト
- 3 フォルダNo.-ファイルNo.
- 5 バッファRAW保存可能
- 6 記録形式
- 7 シャッター速度
- 8 絞り値
- 9 ISO感度
- 10 露出補正
- 11 ヒストグラム（R）
- 12 ヒストグラム（G）
- 13 ヒストグラム（B）

ファインダー

ファインダー撮影時は、ファインダー内に情報が表示されます。

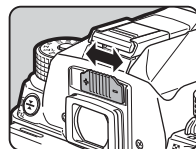


- | | |
|--|---|
| 1 AFフレーム (p.45) | 11 ISO感度 (p.54) / 露出補正値 / 撮影可能枚数 / ワイヤレスモードチャンネル (p.120) / AFエリア (p.60) |
| 2 スポット測光フレーム (p.57) | 8・2 オート (27点) |
| 3 測距点 (p.60) | 8・3 ゾーンセレクト |
| 4 フラッシュマーク (p.57) | 5・1 セレクト |
| 5 フォーカスモード (p.59) | 5・2 セレクトエリア |
| 6 シャッター速度 / AFモード (p.60) / Bモード (p.60) / 露光時の露光時間 / ブラケット撮影時のブラケット枚数 | 5・3 セレクトエリア |
| 7 絞り値 / ブラケット撮影時のブラケット幅 | 5・4 セレクトエリア |
| 8 合焦マーク (p.45) | 5・5 拡大 (L) |
| 9 露出バー / 電子水準器 (p.20) | 5・6 スポット |
| 10 ISO / ISO AUTO | 12 AEロック |
| | 13 測距点移動 (p.60) |
| | 14 多重露出 (p.69) |

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 15 測光方式 (p.57) | 18 露出補正 (p.56) / ブラケット撮影 (p.66) |
| 16 Shake Reduction | 19 記録形式 (p.48) |
| 17 フラッシュ光量補正 (p.57) | |

メモ

- ファインダー内の表示は、**SHUTTER** 半押し時と、測光作動時間 (初期設定: 10秒) の間に表示されます。測光作動時間は、**C1**メニュー「3 測光作動時間」で変更ができます。(p.34)
- SHUTTER** を半押しにすると、オートフォーカスに使われた測距点が赤く点灯 (スーパーインポーズ) します。**5**メニュー「ファインダー内表示」の「スーパーインポーズ」でオフに設定できます。(p.26)
- ファインダー内の見え方は、視度調整レバーで調節できます。視度調整レバーが操作しづらいときは、アイカップを引き上げて外してください。ファインダー内のAFフレームがはっきり見えるように調整します。

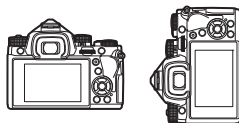


電子水準器

カメラの傾きを電子水準器表示で確認できます。ファインダー内に左右方向、ライブビュー画面に前後・左右方向の電子水準器が表示できます。(p.14)  で表示のオン/オフが切り替えられます。



ファインダー内表示の例



水平時（傾き0°）



左下がりに5°傾いているとき



縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき



●メモ

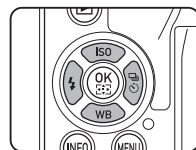
-  (Fn2) に他の機能を割り当てたり、Fn1 / Fn3 に「電子水準器」を割り当ててもできます。(p.102)
- 電子水準器を表示するかどうかは、 Fn5メニューのファインダー内表示／ライブビュー表示で設定することもできます。(p.26)

機能の設定方法

ダイレクトキーで設定する

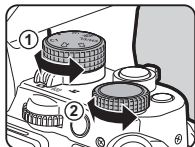
撮影待機状態で    を押します。

	ISO感度	p.54
	ホワイトバランス	p.72
	フラッシュモード	p.57
	ドライブモード	p.64



スマートファンクションで設定する

機能ダイヤル (①) で機能を選択し、設定ダイヤル (②) で値を変更します。2つのダイヤルを使って、簡単に設定が変更できます。



以下の機能が設定できます。

機能ダイヤル	機能	参照
●	無効	—
AE	測光方式を切り替え	p.57
HDR	HDR撮影のタイプを変更	p.77
CH/CL	連続撮影の速度を切り替え	p.65
C1	(初期設定) カスタムイメージの画像仕上を変更	p.74
C2	(初期設定) ローパスセクターのタイプを変更	p.79
C3	(初期設定) 画像モニターの明るさを変更	p.108

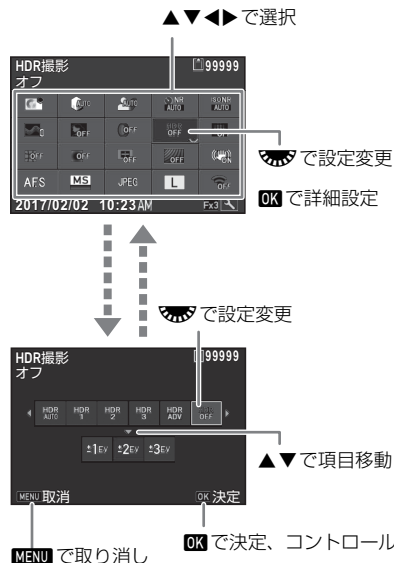
C1/C2/C3は、5メニュー「ボタンカスタマイズ」で機能の割り当てができます。(p.105)

機能ダイヤルまたは設定ダイヤルを操作したときに、割り当てられている機能がステータススクリーン/ライブビューで確認できます。



コントロールパネルで設定する

撮影待機状態で **INFO** を押します。



メモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルは何も操作しないと、約1分後に撮影待機状態に戻ります。

コントロールパネルをカスタマイズする

コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。

📷メニュー／👤メニュー／🔧メニューの一部がコントロールパネルに登録できます。登録できる機能については、「メニュー一覧」(p.24)を参照してください。

1 撮影待機状態で **INFO** を押す
コントロールパネルが表示

2 **Fx3** を押す
カスタマイズ画面が表示

3 ▲▼◀▶ で変更するパネル
を選択
○で登録内容リセット



4 **OK** を押す
機能がポップアップ表示

5 ▲▼で登録する機能を選択
「--」は未登録



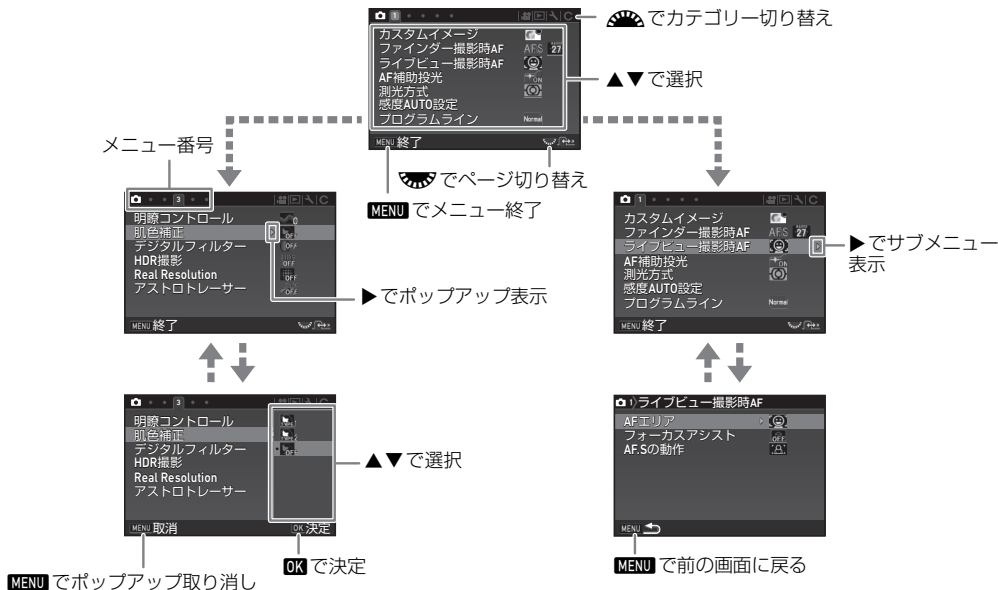
6 **OK** を押す
手順3の画面に戻る

7 **Fx3** を押す
コントロールパネルに戻る

8 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る

メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定します。



メモ

- ・Cメニューは、サブメニューが表示されている状態で☀️を操作すると、次の項目の設定画面に切り替えることができます。
- ・MENUを押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが表示されます。直前に操作した画面から表示したいときは、C3メニュー「21 メニュー選択の記憶」で設定します。
- ・メニュー/ダイレクトキー/スマートファンクション/コントロールパネル/再生モードパレットで設定した値は、5メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。Cメニューは、C4メニュー「カスタムのリセット」で初期設定に戻ります。（一部の機能を除く）

撮影メニュー

	項目		機能	初期設定	参照
カメラ	カスタムイメージ *1 *2		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.74
	ファインダー撮影時AF	AFモード *1 *2	ファインダー撮影時のAFモードを選択	AF.S	p.60
		AFエリア *1 *2	ファインダー撮影時のピント合わせの位置を選択	オート (27点)	p.60
		AF.Sの動作	AFモードAF.SでSHUTTERを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.59
		AF.C 1コマ目の動作	AFモードAF.CでSHUTTERを全押ししたときの1コマ目の優先動作を設定	オート	
		AF.C連続撮影中の動作	AFモードAF.Cで連続撮影中の優先動作を設定	オート	
		AFホールド	合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォーカスを保持	弱	
	ライブビュー撮影時AF	AFエリア *1 *2	ライブビュー撮影時のピント合わせの位置を選択	顔検出	p.62
		フォーカスアシスト *1 *2	ピントが合った部分の輪郭やコントラストを強調	オフ	p.61
		AF.Sの動作	SHUTTERを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	
	AF補助投光 *1		暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.60
	測光方式 *1		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるかを設定	分割	p.57
	感度AUTO設定	調整範囲 (上限) *1	ISO AUTOのISO感度上限値	ISO 6400	p.55
		調整範囲 (下限)	ISO AUTOのISO感度下限値	ISO 100	
		低速限界の指定方法 *1	シャッター速度の低速限界の設定を、自動で行うか直接指定するかを設定	AUTO	
		低速限界の設定値	低速限界のときの設定値	標準	
	プログラムライン *1 *2		プログラムラインを選択	標準	p.50
露出モード *3	露出モード	U1～U5モード時の露出モードを一時的に変更	P	p.109	
	プログラムライン	U1～U5モード時のプログラムラインを選択	標準		

	項目		機能	初期設定	参照
📷2	シャッターモード *1 *2		メカシャッターと電子シャッターを切り替え	メカシャッター	p.52
	記録設定	記録形式 *1	ファイル形式を設定	JPEG	p.48
		JPEG記録サイズ *1 *2	JPEGの記録サイズを設定		
		JPEG画質 *1	JPEGの画質を設定	★★★	
		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF	
		色空間	使用する色空間を設定	sRGB	
	D-Range 設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.76
		シャドウ補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	ノイズリ ダクシ ョン	長秒時NR *1	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.50
高感度NR *1		高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.55	
📷3	明瞭コントロール *1		画像処理で明瞭感を変更	±0	p.78
	肌色補正 *1		画像処理で肌質感を向上	オフ	p.78
	デジタルフィルター *1		フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.75
	HDR撮影	HDR撮影 *1	ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ	p.77
		振り幅設定		±2EV	
		自動位置調整		オン	
	Real Resolu- tion	Real Resolution	複数の画像を合成し、高精細な画像を取得	オフ	p.78
		動体補正 *1		オン	
	アストロトレーサー *1		天体追尾撮影を設定	オフ	p.121
📷4	ローパスセクター *1 *2		Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ	p.79
	Shake Reduction *1		手ぶれ補正機能を設定	オン	—
	自動水平補正 *1		📷モード時の左右の傾きを補正	オフ	—
	構図微調整 *1		Shake Reductionユニットを利用して、構図の位置と傾きを補正	オフ	p.80
	レンズ補 正	ディストーション補正 *1	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ	p.77
		周辺光量補正 *1	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ	
		倍率色収差補正 *1	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン	
		回折補正 *1	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン	
	焦点距離入力 *1		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm	p.119

	項目	機能	初期設定	参照
📷5	ファインダー内表示	電子水準器 *1	ファインダー内に電子水準器を表示	オフ p.20
		スーパーインポーズ	選択された測距点をファインダー内に赤く点灯	オン p.19
	ライブビュー表示	グリッド表示 *1 *2	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ/黒
		電子水準器 *1	ライブビューに電子水準器を表示	オン
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ
		フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz
	クイックビュー表示	表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒
		拡大表示	クイックビューで拡大表示	オン
		RAW追加保存	クイックビューでRAW画像を追加保存	オン
		消去	クイックビューで画像を消去	オン
		ヒストグラム表示	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ
	その他の表示	ガイド表示	ダイヤルやボタンを操作したときに、ステータススクリーン/ライブビューにガイド表示を表示	オン p.45
		配色	ステータススクリーン/コントロールパネル/メニューカーソルの配色を設定	1 p.43

項目			機能	初期設定	参照
📷5	ボタンカスタマイズ	Fx1ボタン	Fx1 の動作を設定	ワンタッチRAW+	p.102
		Fx2ボタン	Fx2 の動作を設定	電子水準器	
		Fx3ボタン	Fx3 の動作を設定	露出補正	
		AF/AE-Lボタン	AF/AE-L の動作を設定	AF作動1	
	機能ダイヤル	C1	機能ダイヤルC1／C2／C3に登録する機能を設定	カスタムイメージ	p.105
		C2		ローパスセクター	
		C3		アウトドアモニター	
	電子ダイヤル	P	露出モード別に  ／  ／  の動作を設定	Tv ／ Av ／➡ P	p.106
		Sv		--／ISO／--	
		Tv		Tv ／--／--	
		Av		--／ Av ／--	
		TAv		Tv ／ Av ／ P LINE	
		M		Tv ／ Av ／ P LINE	
		回転方向設定	 ／  を操作したときの値の変化	順方向	

		項目	機能	初期設定	参照
5	モードメモリ	ISO感度	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	オン	p.110
		露出補正		オン	
		フラッシュモード		オン	
		フラッシュ光量補正		オン	
		ドライブモード		オン	
		ホワイトバランス		オン	
		カスタムイメージ		オン	
		明瞭コントロール		オフ	
		肌色補正		オフ	
		デジタルフィルター		オフ	
		HDR撮影		オフ	
		Real Resolution		オフ	
		構図微調整範囲		オン	
		撮影情報表示		オフ	
		再生情報表示		オン	
		アウトドアモニター		オフ	
		赤色画面表示		オフ	
		キーロック		オン	
	USER モード登録	設定登録	よく使用する撮影設定をモードダイヤル U1～U5 に登録	HDR LANDSCAPE／ MACRO／ ASTROPHOTO／ MANUAL LENS／ －	p.108
		名称登録	ガイド表示に表示される名称を登録	HDR LANDSCAPE／ MACRO／ ASTROPHOTO／ MANUAL LENS／ USER5	
		登録済み内容確認	登録されている設定内容を表示	－	
		USERモードリセット	設定内容をリセット		

*1 コントロールパネル登録可

*2 機能ダイヤル登録可

*3 U1～U5モードのときのみ表示

	項目	機能	初期設定	参照
1	カスタムイメージ *1 *2	色味やコントラストなどの画像の仕上がりに具合を設定	鮮やか	p.74
	ライブ ビュー撮影時AF	AFモード *1 *2	AF.S	p.62
		AFエリア *1 *2	多点オート	p.62
		フォーカスアシスト *1 *2	オフ	p.61
	AF補助投光 *1	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.60
	測光方式 *1	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.57
	記録設定	記録サイズ *1 *2	Full HD	p.48
		フレームレート *1	30p	
2	録音レベル *1	記録時の録音レベルを設定	オート	p.53
	D-Range 設定	ハイライト補正 *1	オート	p.76
		シャドウ補正 *1	オート	
	デジタルフィルター *1	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.75
	Movie SR *1	手ぶれ補正機能を設定	オン	—
	ライブ ビュー表示	グリッド表示 *1 *2	オフ/黒	p.14
		電子水準器 *1	オン	
		ヒストグラム表示	オフ	
		白とび警告	オフ	
		フリッカー低減	50Hz	

項目				機能	初期設定	参照
 2	ボタンカスタマイズ	AF/AE-Lボタン		AF/AE-Lの動作を設定	AF作動1	p.102
		電子ダイヤル		露出モード別に  /  /  の動作を設定	--/--/--	p.106
					Tv/--/P LINE	
					--/Av/P LINE	
					Tv/Av/P LINE	
					Tv/Av/P LINE	
	回転方向設定	 /  を操作したときの値の変化		順方向		

*1 コントロールパネル登録可

*2 機能ダイヤル登録可

再生メニュー

	項目	機能	初期設定	参照
▶1	スライド ショー	表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ
		繰り返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ
		動画自動再生	スライドショー中に動画も再生	オン
	全画像プロテクト		保存されているすべての画像をプロテクト	—
	全画像消去		保存されているすべての画像を消去	—
	クイック拡大		拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ
	再生音量		動画再生時の音量を設定	10
	画面表示	画像の自動回転	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン
		グリッド表示	グリッドの種類と色を設定	オフ/黒
		白とび警告	再生モードの標準情報表示/ヒストグラム表示/情報表示なしで白とび部分を赤で点滅表示	オフ

1

基礎知識

項目		機能	初期設定	参照
1	Language/言語	表示言語の切り替え	English	p.42
	日時設定	年月日の表示形式と日時を設定	2017/01/01	p.43
	ワールドタイム	現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.114
	文字サイズ	メニュー選択時の文字サイズを拡大	標準	p.42
	電子音	音量	3	—
		合焦音	オン	p.45
		AE-L	AE/AF-L で AE ロックしたときの電子音	p.51
		セルフタイマー	セルフタイマー撮影でのカウントダウン時の電子音	p.65
		ミラーアップ	ミラーアップ撮影時の電子音	p.69
		測距点移動	▲▼◀▶ の動作を測距点移動モードに切り替えたときの電子音	p.61
		ワンタッチRAW+	Fx1 / Fx2 / Fx3 で記録形式を切り替えたときの電子音	p.103
		電子水準器	Fx1 / Fx2 / Fx3 で電子水準器表示のオン/オフを切り替えたときの電子音	p.20
		Wi-Fi	Fx1 で Wi-Fi™ 機能のオン/オフを切り替えたときの電子音	p.94
		赤色画面表示	Fx1 で赤色画面表示のオン/オフを切り替えたときの電子音	p.122
2	LCD 設定	画像モニターの明るさ/彩度/色調整を設定	0	p.107
	アウトドアモニター *1 *2	屋外での画像モニターの明るさを調整	オフ	p.108
	赤色画面表示 *1	夜間などの暗い場所での撮影時に、画像モニターを赤く表示	オフ	p.122
	インジケーター	セルフタイマー	ドライブモード「セルフタイマー」のカウントダウン時の点滅	p.108
		GPS ユニットのランプ	GPS ユニット装着時のランプの点灯	

	項目		機能	初期設定	参照
3	Wi-Fi ^{*1}		Wi-Fi™ 機能の動作を設定	オフ	p.94
	GPS/電子コンパス	自動時刻修正	日時設定を自動的に補正	オン	p.121
		キャリブレーション	方位情報のキャリブレーションを実行	—	
	USB接続		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.92
	外部映像出力		AV機器と外部映像出力端子で接続するときに設定	オート	p.85
	ケーブルスイッチ端子 ^{*1}		マイク/ケーブルスイッチ兼用端子に接続する機器を設定	自動選択	p.53
	オートパワーオフ		一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.42
4	フォルダー新規作成		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	—	p.111
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.111
	ファイル名		画像に付与されるファイル名を設定	IMGP/_IMG	p.112
	ファイルNo.	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続	オン	p.113
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	—	
	著作権情報		Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.113
	フォーマット		メモリーカードをフォーマット	—	p.44
5	ピクセルマッピング		センサーの画素の欠損部分を補完	—	p.123
	ダストリムーバル		センサーを振動させてクリーニング	オン/オン	p.123
	センサークリーニング		センサーをブローでクリーニングするために、ミラーアップ	—	p.124
	バッテリー選択		別売のバッテリーグリップを装着したときに優先的に使用するバッテリーを設定	自動選択	p.39
	認証マーク		無線LANの認証マークを表示	—	p.137
	バージョン情報		カメラのファームウェアのバージョンを表示	—	—
	リセット		カメラメニュー/メニュー/メニュー/メニュー/ダイレクトキー/スマートファンクション/コントロールパネル/再生モードパレットの設定内容をリセット	—	—

*1 コントロールパネル登録可

*2 機能ダイヤル登録可

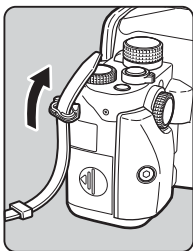
	項目	機能	初期設定	参照
C1	1 露出設定ステップ	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.50
	2 ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.54
	3 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒	p.19
	4 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正	オフ	—
	5 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	p.57
	6 AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	—
	7 B時の撮影方法	BモードのSHUTTERの動作を設定	Type1	p.51
C2	8 充電中のレリーズ	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ	p.58
	9 ブラケット撮影順	ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.66
	10 ワンブッシュブラケット	ブラケット撮影時に1回のレリーズで全コマ撮影	オフ	p.66
	11 インターバル撮影の動作	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画のときの撮影間隔を、露光開始時からカウントするか露光終了時からカウントするか設定	撮影間隔	p.71
	12 インターバル撮影中のAF	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画／スターストリームのとときに、1回目でフォーカス位置を固定するか撮影ごとにオートフォーカスを作動させるかを設定	フォーカスロックする	p.71
	13 WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行うかどうかを設定	固定	p.72
C3	14 白熱灯下のオートWB	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を設定	強	p.72
	15 フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB	p.72
	16 色温度ステップ	ホワイトバランス「色温度」の調整ステップを設定	ケルビン	p.73
	17 キーロックの動作	ボタン・ダイヤルの機能を一時的に無効にする内容を選択	Type1	p.51
	18 十字キーの機能	AFエリア「セレクト」のときの▲▼◀▶の動作を選択	Type1	p.61
	19 SRの自動オフ	ドライブモード「セルフタイマー」のときに、Shake Reductionを自動的にオフに設定	自動オフする	p.64
	20 回転情報の記録	回転情報を記録	オン	p.84
	21 メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次にMENUを押したときに記憶したメニューを表示	記憶しない	p.23

	項目	機能	初期設定	参照
C4	22 キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行う	オフ	p.119
	23 AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.63
	24 絞りリングの使用	レンズの絞りリングが A 位置以外のときも撮影可能に設定	禁止	p.118
	カスタムのリセット	C メニューの設定内容をリセット	—	—

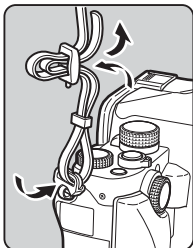
ストラップの取り付け

2 準備

- 1 ストラップの先端を三角環に通す

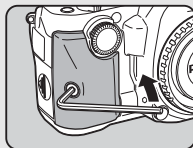


- 2 ストラップ先端を留め具の内側に固定する



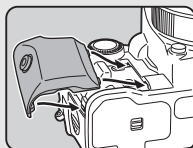
別売のグリップを利用する

出荷時はカメラに、グリップS O-GP167が装着されています。別売のグリップM O-GP1671／グリップL O-GP1672と交換するときは、別売グリップに付属の六角レンチを使用してグリップ取り付けねじを完全に緩めてからグリップを外してください。（ねじはグリップから外れません。）



取り付けるときは、グリップのツメがカメラのグリップ部の溝に合うように取り付け、グリップ取り付けねじをしっかりと締めて使用してください。

なお、別売のバッテリーグリップD-BG7には、グリップL O-GP1672が同梱されています。

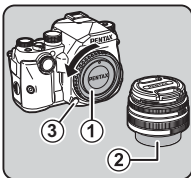


レンズの取り付け

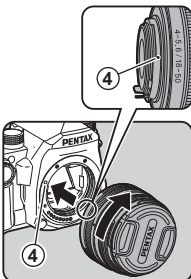
1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

2 ボディマウントキャップ(①)とレンズマウントカバー(②)を外す

レンズ取り外しボタン(③)を押しながら、ボディマウントキャップを左に回して外す
カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く

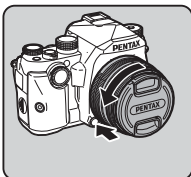


3 カメラとレンズのマウント指標(赤点/④)を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタンを押しながらレンズを左へ回す



●注意

- レンズの取り付け／取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントキャップを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「沈胴式レンズの使い方」(p.46)を参照してください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

●メモ

- 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.116)を参照してください。

バッテリーのセット

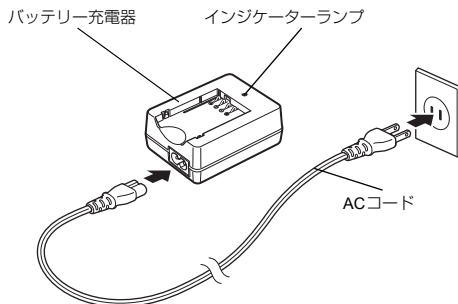
本機専用のバッテリーD-LI109とバッテリー充電器D-BC109を使用します。

2 準備

バッテリーを充電する

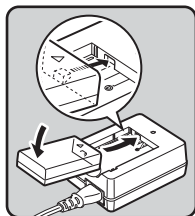
1 バッテリー充電器にACコードを接続

2 ACコードをコンセントに差し込む



3 ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット

バッテリーを充電器に斜めに差し込んでからはめ込む
充電中はインジケータランプ点灯
ランプが消灯したら充電完了



●注意

- バッテリー充電器D-BC109では、D-LI109以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケータランプが点滅する、または点灯しない
 - 正しく充電しても使用できる時間が短い(バッテリーの寿命)

●メモ

- 充電時間は、最大で約240分です(周囲の温度や充電状態によって異なります)。周囲の温度が0~40℃の環境で充電してください。

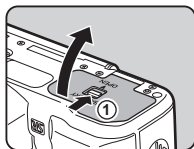
バッテリーを入れる

●注意

- ・バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入ると、取り出せなくなる場合があります。
- ・バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- ・電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- ・カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- ・長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- ・バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- ・長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。(p.42)

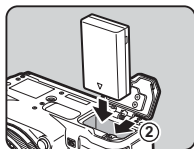
1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバー開放レバー
(①) をスライドさせて開ける

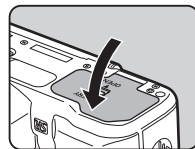


2 バッテリーの▲マークをカメラのレンズ側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを②の方向に押す



3 バッテリーカバーを閉める



●メモ

- ・低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- ・使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意し、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- ・海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。
- ・別売のバッテリーグリップ D-BG7を使用するときは、**5**メニュー「バッテリー選択」で優先的に使用するバッテリーを設定できます。(p.33)

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。

ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



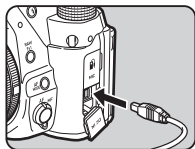
Li-ion00

ACアダプターを使用する

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンと接続するときなどは、別売のACアダプターキット K-AC167Jのご使用をお勧めします。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認し、端子カバーを開ける

2 ACアダプターのDC端子とカメラのDC入力端子の▲マークを合わせて接続



3 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

●注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

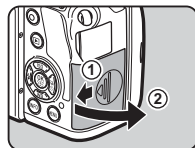
本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード

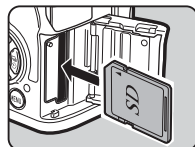
本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

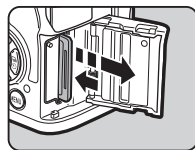
2 メモリーカードカバーを①の方向にスライド



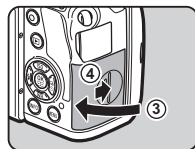
3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド



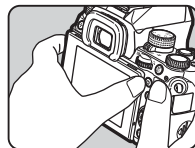
●注意

- ・カードアクセスランプ（オレンジ）点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- ・電源が入っているときにメモリーカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- ・未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.44）
- ・動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影の途中で終了する場合があります。

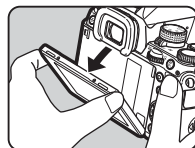
画像モニターの角度調節

本機の画像モニターは、前後に角度が変えられます。

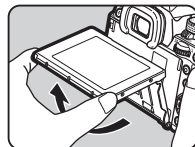
- 1 右手でカメラのグリップを持ち、左手で画像モニター上部を持つ



- 2 止まるところまでゆっくりと手前に倒す



- 3 画像モニター下部を持って上方方向に引き上げる



- 4 角度を調整する

収納するときは、手順3→2の順に閉じる

●注意

- ・可動部に強い力を加えたり、ひねったりしないでください。
- ・画像モニターをファインダー部にぶつけないように注意してください。
- ・カメラを持ち歩くときは、画像モニターを閉じてください。

初期設定

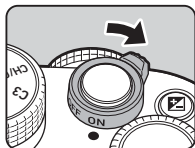
電源を入れて初期設定をします。

2 準備

電源を入れる

1 電源レバーを「ON」に合わせる

初めて電源を入れたときは、「Language/言語」画面が表示



●メモ

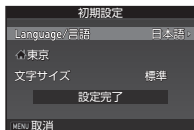
- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。(初期設定：1分) 3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。(p.33)

言語を設定する

1 ▲▼◀▶で言語を選択してOKを押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示

📍に都市名が正しく設定されているときは、手順6へ



2 ▼で選択枠を📍に移動し、▶を押す

「📍現在地」画面が表示

3 ◀▶で都市を選択

🌐で地図表示切り替え

📍 指定できる都市 (p.131)



4 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で☐/☑を設定

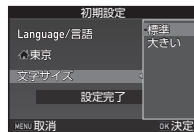
5 OKを押す

「初期設定」画面に戻る

6 ▼で「文字サイズ」を選択、▶を押す

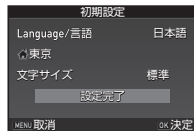
7 ▲▼で標準/大きいを選択、OKを押す

「大きい」に設定すると、選択中のメニュー項目が大きく表示



8 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

「日時設定」画面が表示



日時を設定する

- 1 ▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択



- 2 ▶を押し、▲▼で24h／12hを選択

- 3 OKを押す

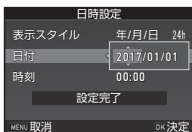
選択枠が「表示スタイル」に戻る

- 4 ▼を押してから▶を押す

選択枠が西暦年に移動

- 5 ▲▼で西暦年を設定

同様に月／日と時刻を設定



- 6 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

「画面表示」画面が表示



画面表示を設定する

- 1 ◀▶で配色を選択

1～12の中から、ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの色を選択



- 2 OKを押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる



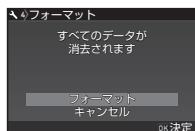
- 設定した言語／文字サイズ／日時は、1 メニュー、配色はカメラメニュー「その他の表示」で変更できます。(p.26、p.32)

メモリーカードをフォーマットする



準備

- 1 **MENU** を押す
カメラメニューが表示
- 2 太陽/月で4メニューを表示
- 3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す
「フォーマット」画面が表示
- 4 ▲で「フォーマット」を選択、**OK** を押す
フォーマット開始→4メニューに戻る



- 5 **MENU** を押す

●注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

●メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「KP」というボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、「KP」という名称のリムーバブルディスクとして認識されます。

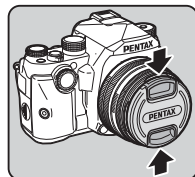
撮影のキホン

本機が撮影時の状況を判断して最適な撮影条件を自動で設定する **AUTO** (シーンアナライズオート) モードで撮影してみましょう。

ファインダーを使って撮影する

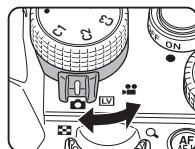
- 1 図の矢印部分を押し、**レンズキャップを外す**
沈胴式レンズ装着時は、レンズを繰り出す

☞ 沈胴式レンズの使い方 (p.46)

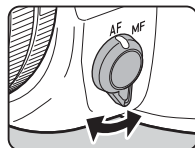


- 2 電源を入れる

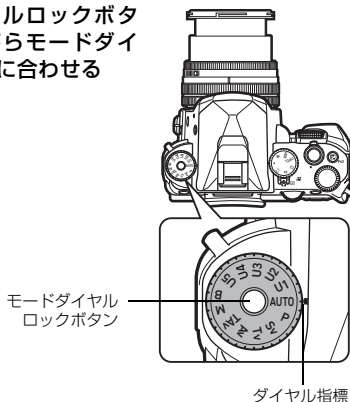
- 3 太陽/月/カメラアイコンレバーをカメラアイコンに合わせる



- 4 **AF/MF** レバーを **AF** に合わせる

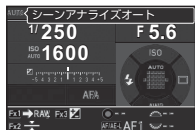


5 モードダイヤルロックボタンを押しながらモードダイヤルをAUTOに合わせる



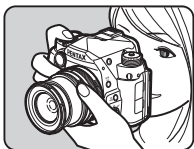
画像モニターに撮影モードと、ボタン/ダイヤルの機能割り当てが表示 (ガイド表示)

☞ ガイド表示の設定 (p.26)



6 ファインダーをのぞいて被写体を確認

ズームレンズ使用時は、ズームリングを回して画角を調整



7 AFフレーム内に被写体を入れてSHUTTER半押し ピントが合うと、ファインダー内の●が点灯し「ピピッ」と電子音

☞ 電子音の設定 (p.32)



合焦マーク

8 SHUTTER全押し

撮影画像が画像モニターに表示 (クイックビュー)

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

	消去
	右 拡大表示
	RAW画像を追加保存 (保存可能時のみ)

メモ

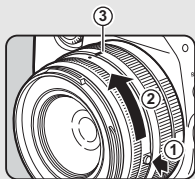
- AF/AE-L でピントを合わせることもできます。(p.59)
- 電子音の音量と音を鳴らすかどうかは、 1メニュー「電子音」で設定できます。(p.32)
- クイックビューの画面表示と動作については、 5メニュー「クイックビュー表示」で設定できます。(p.26)「表示時間」を「HOLD」に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューが表示されます。

注意

- AUTOモードは、設定できる機能が制限されます。

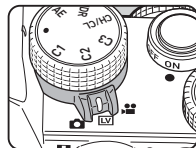
沈胴式レンズの使い方

smc PENTAX-DA L 18-50mm F4-5.6 DC WR REなどの沈胴式レンズを装着している場合は、レンズを収納した状態で電源を入れるとメッセージが表示されます。ズームリング上のボタン(①)を押しながら②の方向に回してレンズを繰り出します。レンズを収納するときは、ボタンを押しながら②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合わせます。



ライブビュー画像を見ながら撮影する

- 1 「ファインダーを使って撮影する」(p.44)の手順3で、
 / レバーを に合わせる
 画像モニターにライブビュー画像が表示



- 2 画像モニターのAFフレーム内に被写体を入れて **SHUTTER** 半押し
 ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ピピッ」と電子音



AFフレーム

ボタン・ダイヤル操作

- OK** 拡大表示
 で倍率変更 (最大16倍)
 で拡大位置移動
 で中央に戻る
OK で等倍に戻る

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

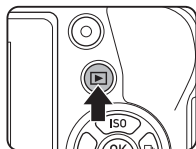
メモ

- ・ライブビューの画面表示については、 5メニュー「ライブビュー表示」で設定できます。(p.26)「グリッド表示」は機能ダイヤルに割り当てて、スマートファンクションで切り替えることもできます。(p.21、p.105)
- ・機能ダイヤルに「画像表示拡大」を割り当てると、スマートファンクションで手順2の拡大表示ができます。(p.21、p.105)

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 再生ボタンを押す



再生モードになり、最新画像が表示
(1画像表示)



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀ / 再生ボタン	前の画像を表示
▶ / 再生ボタン	次の画像を表示
消去ボタン	消去
再生ボタン	拡大表示 (最大16倍) ▲▼◀▶ で拡大位置移動 ○ で中央に戻る OK で全体表示に戻る
再生ボタン	分割表示 (p.82)
FX3	RAW画像を追加保存 (保存可能時のみ)
INFO	表示情報切り替え (p.17)
▼	再生モードパレット表示 (p.81)

メモ

- 再生ボタン 右で拡大表示したときの拡大率は、画面右下に表示されます。1メニュー「クイック拡大」で、最初の拡大率が設定できます。(p.31)
- 画像モニターに「FX3 RAW」が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。(バッファ RAW保存)
- 1 画像表示のときに、グリッドを表示することができます。1メニュー「画面表示」の「グリッド表示」で設定します。(p.31)
- 機能ダイヤルにグリッド表示／情報表示切替／画像表示拡大／アウトドアモニターのいずれかを割り当てると、再生時にスマートファンクションで設定の変更ができます。(p.21、p.105)

記録方法を設定する

静止画の記録設定



静止画の記録形式は、2メニュー「記録設定」で設定します。

記録形式	JPEG／RAW／RAW+
JPEG記録サイズ	／／／
JPEG画質	★★★／★★／★
RAWファイル形式	PEF／DNG
色空間	sRGB／AdobeRGB

●メモ

- 「記録形式」を「RAW+」に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- 「RAW ファイル形式」の「PEF」は、PENTAX独自のRAW ファイルフォーマットです。
- （初期設定）を長押しすると電子音が鳴り、一時的に記録形式を変更して撮影（ワンタッチRAW+）ができます。（p.103）
- 機能ダイヤルに「記録サイズ」を割り当てると、スマートファンクションでJPEGまたは動画の記録サイズが変更できます。（p.21、p.105）

動画の記録設定



動画の記録形式は、1メニュー「記録設定」で設定します。

記録サイズ	フレームレート
	60i／50i／30p／25p／24p
	60p／50p

静止画を撮影する

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	機能	参照
AUTO シーンアナライズオートモード	最適な撮影条件をカメラが自動で設定	p.44
P／Sv／Tv／Av／TAv／M／B 露出モード	シャッター速度／絞り値／ISO感度を設定して撮影	p.49
U1 HDR LANDSCAPE	風景写真をドラマチックな印象に仕上げる設定	—
U2 MACRO	マクロ撮影に最適な設定	
U3 ASTROPHOTO	背景の黒浮きを抑えて星の色を美しく再現する設定	
U4 MANUAL LENS	マニュアルレンズを装着したときに最適な設定	

●メモ

- U1～U5**には、よく使う露出モードと撮影設定をまとめて登録できます。（p.108）

露出モードで撮影する

○：設定可 △：条件付きで可 ×：設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△ *1	△ *1	○	○
Sv 感度優先 自動露出	×	×	○ *2	○
Tv シャッター 優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先 自動露出	×	○	○	○
TAv シャッター& 絞り優先 自動露出	○	○	×	○
M マニュアル 露出	○	○	○ *2	○
B バルブ露出	×	○	○ *2	×

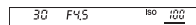
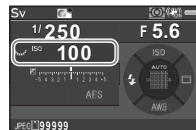
*1 5メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で変更する値を指定可能 (p.106)

*2 ISO AUTO選択不可

*3 ISO AUTO固定

*4 タイマー露光では、10秒～20分のシャッター速度が設定可能 (p.51)

1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる
ステータススクリーンには、変更可能な値に  /  が表示

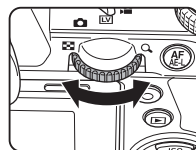


ファインダー内には、変更可能な値にアンダーラインが表示

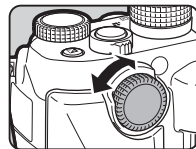
ライブビュー撮影では、変更可能な値に▶が表示



2  を回す
Av / TAv / M / B モードの絞り値が変更
Sv モードはISO感度の変更



3  を回す
Tv / TAv / M モードのシャッター速度が変更



3

撮影

●メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定できます。**C1**メニュー「1 露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更ができます。
- M**モードでは、露出の調整中に適正露出との差がバーグラフで表示されます。
-  /  と  を操作したときにどのように動作するかを、露出モードごとに設定できます。（**B**モード以外）**C5**メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で設定します。（p.106）
- Tv** / **Av** モードのときは、シャッター速度／絞り値を自動的に変化させて撮影することもできます。（p.67、p.68）

●注意

- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度／絞り値で適正露出が得られない場合があります。

長秒時のノイズを軽減する



低速のシャッター速度で撮影するときは、**C2**メニュー「ノイズリダクション」の「長秒時NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

オート	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行う
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行う
オフ	ノイズリダクションを行わない

露出の制御方法を設定する



C1メニュー「プログラムライン」で、露出の制御方法が指定できます。

	オート	カメラが適切な設定を判断
	標準	基本のプログラム自動露出
	高速優先	高速シャッターを優先
	深度優先 (深い)	被写界深度を深くする
	深度優先 (浅い)	被写界深度を浅くする
	MTF優先	使用レンズの最良の絞り値を優先 DA / DAL / DFA / FAJ / FALレンズ使用時に有効

●メモ

- プログラムラインは、以下のときに有効です。
 - P** / **Sv** モード
 - C5** メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で **TAv** / **M** の  の設定が **P** LINE に設定されているとき
- 機能ダイヤルに「プログラムライン」を割り当てると、スマートファンクションで変更ができます。（p.21、p.105）

被写界深度を確認する（プレビュー）

Fx1 / **Fx2** / **Fx3** のいずれかに「プレビュー」を割り当てると、撮影前に被写界深度の確認ができます。（p.104）

露出を記憶する

撮影前の露出を記憶させるときは、「AEロック」を利用します。**Fx1** / **Fx2** / **Fx3**、または **AF/AE-L** に「AEロック」を割り当てることで使用できます。（p.102）

キー操作をロックする

Fx1 / **Fx2** / **Fx3** のいずれかに「キーロック」を割り当てると、撮影時の誤操作を防ぐために一部のボタン・ダイヤルの操作を一時的に無効にすることができます。（p.102）

撮影待機状態でボタンを押しながら  を回すとボタン・ダイヤルがロックされ、もう一度回すとロックが解除されます。

ロック中は、ステータススクリーン／ライブビューに  が表示されます。

ロックするボタン・ダイヤルの種類は、**C3**メニュー「17 キーロックの動作」で選択できます。

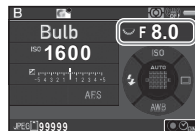


Type1	撮影待機中の露出に関する設定変更を禁止
Type2	撮影待機中の     / OK / MENU を無効

バルブ撮影

1 モードダイヤルをBに合わせる

2 で絞り値を設定する



3 タイマー露光を設定するときには を押し、 で時間を設定する

10"～20'00"で設定

4 **SHUTTER** を押す

SHUTTER を押し続けている間、露光される

手順3でタイマー露光を設定したときは、**SHUTTER** 全押し後、設定した時間で露光終了

●メモ

- 露光開始時と終了時に **SHUTTER** を押して撮影することもできます。**C1**メニュー「7 B時の撮影方法」で設定します。
- 撮影時は、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。別売のケーブルスイッチの利用をお勧めします。（p.53）

●注意

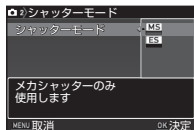
- ドライブモードの連続撮影／ブラケット撮影／インターバル撮影は選択できません。

電子シャッターを利用する



シャッター幕を作動させることで撮影を行う「メカシャッター」は、撮影時にシャッター幕の動作音や振動が発生します。これらを軽減させたいときや、高速なシャッター速度で撮影したいときは、「電子シャッター」が利用できます。

電子シャッターのみを使用するときは、**2**メニュー「シャッターモード」で「電子シャッター」を選択します。



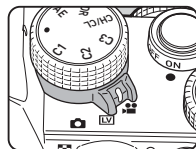
●注意

- 以下のときは、「電子シャッター」は選択できません。
 - **B**モード
 - ドライブモード「インターバル撮影」
- 「電子シャッター」を選択したときは、以下の機能は使用できません。
 - フラッシュ
 - Shake Reduction
- 「電子シャッター」に設定して高速なシャッター速度で撮影すると、動いている被写体が歪んで撮影されることがあります。

●メモ

- 「電子シャッター」に設定したときは、ライブビュー画像(p.46)を見ながら撮影すると、より静音で撮影ができます。
- 機能ダイヤルに「シャッターモード」を割り当てると、スマートファンクションで変更ができます。(p.21、p.105)

動画を撮影する

1 レバーを に合わせる

ライブビューが表示



録画可能時間

2 モードダイヤルを設定する撮影モードに合わせる
撮影モードによって、以下の設定が可能

P / Tv / Av / TAv / M	各露出モードで動作 (M モードはISO感度変更可)
U1~U5	登録されている露出モードに従って動作
その他	P モードで動作

3 / で露出を設定する

4 ピントを合わせる

AFモード時は、**SHUTTER** 半押し

5 **SHUTTER** 全押し

撮影開始

画像モニター左上に「REC」が点滅し、記録されるファイル容量が表示

6 もう一度 **SHUTTER** を押す 撮影終了

●注意

- ・ 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。また、**1**メニュー「ライブビュー撮影時AF」の「AFモード」で**AFC**を選択している場合は、フォーカス駆動音が録音されます。動作音が気になる場合は、**1**メニュー「録音レベル」で音量を調整するか、外部マイクを利用してください。「録音レベル」を「マニュアル」に設定すると、音量が0～20で設定できます。
- ・ デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- ・ 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- ・ 沈胴式レンズを装着している場合は、撮影中にレンズを収納すると録画が中止され、エラーメッセージが表示されます。

●メモ

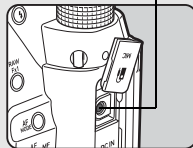
- ・ 動画は最大4GB、または最長約25分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。
- ・ 動画の設定は、**1**メニューで設定します。(p.29)
- ・ 初期設定では、録画中に**SHUTTER**を半押ししてもオートフォーカスは作動しません。カメラに対応レンズを装着すると、**1**メニュー「ライブビュー撮影時AF」の「AFモード」で**AFC**が設定できます。(p.62) **AFC**に設定したときは、録画中も常にオートフォーカスが作動します。また、**2**メニュー「ボタンカスタマイズ」で**AF/AE-L**に設定した内容によって、以下のように動作します。(p.102)

「ボタンカスタマイズ」 の設定	AF/AE-L を押したときの動作
AF作動1 / AF作動2	「AFモード」に応じたオートフォーカスが作動
AFキャンセル	(AFC 作動中) AFC 停止 (AFC 停止中) AFC 作動

マイク／ケーブルスイッチを利用する

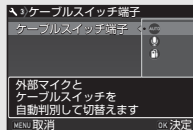
マイク／ケーブルスイッチ兼用端子に、市販のステレオマイクを接続することができます。外部マイクを利用すると、カメラの動作音などが録音されることを軽減できます。
外部マイクは以下の仕様を推奨します。(モノラルマイクには、対応していません。)

マイク／ケーブル
スイッチ兼用端子



プラグ	ステレオミニ (φ3.5mm)
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサー
電源	プラグインパワー方式 (動作電圧2.0V以下)
インピーダンス	2.2kΩ

また、マイク／ケーブルスイッチ兼用端子には、別売のケーブルスイッチ **CS-310**を接続することもできます。ケーブルスイッチを接続したときは、内蔵マイクで録音されます。どちらを接続するかは、**3**メニュー「ケーブルスイッチ端子」で設定します。初期設定は、「自動選択」になっており、通常は変更する必要はありません。



●注意

- ・ マイク／ケーブルスイッチ兼用端子に、推奨規格以外のマイクや機器を接続しないでください。また、ケーブル長が3m以上の外部マイクは使用しないでください。カメラが誤作動する場合があります。
- ・ 外部マイクを接続し、Wi-Fi™ 機能を有効にして動画を撮影すると、音声にノイズが入る場合があります。

動画の再生

- 1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	(一時停止中) コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	(一時停止中) コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
	音量調節 (21段階)
FX3	(一時停止中)表示中のコマをJPEG形式で保存
INFO	標準情報表示／情報表示なし切り替え

●メモ

- 再生時の最初の音量は、1メニュー「再生音量」で設定ができます。(p.31)
- 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.89)

露出を設定する

ISO感度

- 1 撮影待機状態で▲を押す
ISO感度設定画面が表示
Sv／TAv／M／Bモード時は、手順3へ
- 2 ▲▼でISO AUTO／ISOを選択



- 3 / で値を変更

ISO AUTO	上限値／下限値を設定
ISO	ISO 100～819200の間で固定値を設定

- 4 を押す
撮影待機状態に戻る

●メモ

- ISO 感度の調整ステップは 1EV ステップです。露出設定ステップに合わせるときは、**C1**メニュー「2 ISO感度ステップ」で設定します。
- ISO 102400以上に設定した場合、ファインダー内の表示は「H」と上位3桁が表示されます。
例) ISO 102400のとき・・・H102

撮影機状態でISO感度を変更する

Fx1 / Fx2 / Fx3のいずれかに「ISO感度」を割り当てると、ボタンを押しながら $\odot$ を回してISO感度を変更することができます。(p.102) $\odot$ を押すと、ISO AUTOに戻ります。

また、機能ダイヤルに「ISO感度」を割り当てると、スマートファンクションでISO感度を変更できます。(p.21, p.105) この場合にISO AUTOに戻すときは、手順2の画面でISO AUTOを選択してください。



ISO AUTOの調整範囲を設定する



ISO AUTOの調整範囲を $\odot$ 1メニュー「感度AUTO設定」で設定できます。



調整範囲 (上限)	ISO AUTOのISO感度上限値
調整範囲 (下限)	ISO AUTOのISO感度下限値
低速限界の指定方法	シャッター速度の低速限界の設定を、自動で行うか直接指定するかを設定 (AUTO / Tv)
低速限界の設定値	「低速限界の指定方法」がAUTOのとき：低速側 / 標準 / 高速側 「低速限界の指定方法」がTvのとき：1/6000 ~ 30"

高感度時のノイズを軽減する



ISO感度を高く設定しているときのノイズ軽減処理を設定できます。

1 $\odot$ 2メニュー「ノイズリダクション」を選択、 $\blacktriangleright$ を押す

「ノイズリダクション」画面が表示

2 「高感度NR」を選択、 $\blacktriangleright$ を押す

3 強度を選択、OKを押す



オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱 / 中 / 強	弱 / 中 / 強のノイズリダクションを行う
カスタム	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
オフ	ノイズリダクションを行わない

カスタム以外は手順7へ

4 「設定」を選択、 $\blacktriangleright$ を押す

- 5 ▲▼ で ISO 感度を選択し、
◀▶ で強度を選択



ボタン・ダイヤル操作



ページ切り替え



リセット

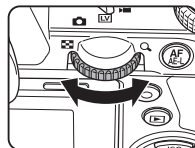
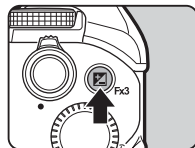
- 6 **MENU** を押す
手順3の画面に戻る

- 7 **MENU** を2回押す

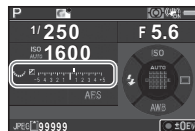
露出補正

露出を -5 ~ +5 EV (Mモードは -2 ~ +2 EV) の範囲で補正できます。

- 1  を押してから  を回す



補正中はステータススクリーン
／ファインダー内／ライブ
ビューに  と補正值が表示



ボタン・ダイヤル操作



設定の開始／終了



リセット

● メモ

- 露出を自動的に変化させて撮影したいときは、「ブラケット撮影」を利用します。(p.66)
-  (Fn3) に他の機能を割り当てたり、Fn1 / Fn2 に「露出補正」を割り当てるとこともできます。(p.102) また、機能ダイヤルに「露出補正」を割り当てると、スマートファンクションで変更ができます。(p.21, p.105)

測光方式



センサーのどの部分で明るさを測り露出を決めるのかを、1 / 1メニュー「測光方式」で設定します。

分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されない
スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用。逆光時も自動補正されない

メモ

- ・C1メニュー「5 測距点と露出の関連付」で、測光ポイントと測距点を連動させることができます。
- ・スマートファンクションで測光方式を変更することもできます。(p.21)

フラッシュを使用する

1 撮影待機状態で◀を押す

2 フラッシュモードを選択



自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
赤目軽減 自動発光	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
強制発光	常に発光
赤目軽減 強制発光	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
赤目軽減 スローシンクロ	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う
後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発光、遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れるように写すことが可能
マニュアル発光	発光量をFULL～1/128で設定
ワイヤレス (コントローラー)	シンクロコードを使わずに専用外付けフラッシュと同調 (p.120)

ボタン・ダイヤル操作



光量補正
(マニュアル発光) 発光量選択



リセット

3

撮影

- 3 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

- 4 **⏏**を押す
内蔵フラッシュがポップアップ



●メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO	⚡ / ⚡ _ⓐ / ⚡ / ⚡ _ⓑ
P / Sv / Av	⚡ / ⚡ _ⓐ / SLOW ⚡ / SLOW ⚡ _ⓐ / SLOW ⚡ _ⓑ / ⚡ _M / WL CONTROL
Tv / TAv / M / B	⚡ / ⚡ _ⓐ / ⚡ _ⓑ / ⚡ _M / WL CONTROL

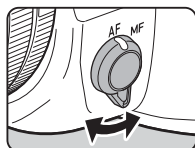
- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、**C2**メニュー「8 充電中のレリーズ」で設定します。
- 使用するレンズによっては、フラッシュの使用に制限があります。(p.117)
- Av**モードでのフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/180秒から低速側までシャッター速度が変化します。DA/DA L/D FA/FA J/FA/Fレンズ以外を使用した場合は、シャッター速度は1/180秒固定です。
- Tv / TAv / M**モードでのフラッシュ撮影は、1/180秒以下のシャッター速度が設定できます。
- 内蔵フラッシュは、被写体との距離が約0.7～5mのときに有効です。それよりも近いと、ケラレなどが発生します。この距離は使用するレンズや、ISO感度の設定によって多少異なります。
- 外付けフラッシュについては、「外付けフラッシュ利用時の機能」(p.120)を参照してください。

ガイドナンバー

ISO感度	ガイドナンバー	ISO感度	ガイドナンバー
ISO 100	約6	ISO 12800	約68
ISO 200	約8.5	ISO 25600	約96
ISO 400	約12	ISO 51200	約136
ISO 800	約17	ISO 102400	約192
ISO 1600	約24	ISO 204800	約272
ISO 3200	約34	ISO 409600	約384
ISO 6400	約48	ISO 819200	約544

フォーカスモードを設定する

AF/MFレバーでフォーカスモードを切り替えます。

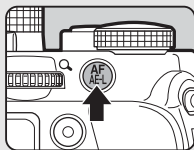


ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカスの方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 A.F.S / A.F.C とこれらを自動で切り替える A.F.A が選択可能 コントラスト検出式よりも高速なオートフォーカスが可能 (p.59)
ライブビュー撮影	コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能 (p.61)

AF/AE-L でピントを合わせる

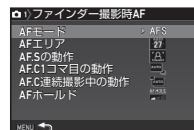
AF/AE-L でピントを合わせることもできます。AF/AE-L の動作は、カメラメニュー「ボタンカスタマイズ」で設定します。(p.102)



ファインダー撮影のオートフォーカスの設定



カメラメニュー「ファインダー撮影時 AF」で、ファインダー撮影時のオートフォーカスの設定ができます。



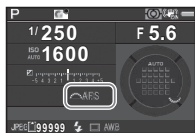
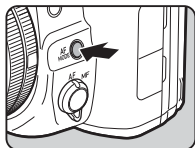
AFモード	A.F.A / A.F.S / A.F.C
AFエリア	オート (27点) / ゾーンセレクト / セレクト / セレクトエリア拡大 (S) / セレクトエリア拡大 (M) / セレクトエリア拡大 (L) / スポット
AF.Sの動作	フォーカス優先 / リリース優先
AF.C 1コマ目の動作	オート / フォーカス優先 / リリース優先
AF.C連続撮影中の動作	オート / フォーカス優先 / コマ速優先
AFホールド	オフ / 弱 / 中 / 強

メモ

- AFモード / AFエリアは、AF/AE-L を押しながら / で変更ができます。(p.60)
- 機能ダイヤルに AF モード / AF エリアを割り当てると、スマートファンクションで変更ができます。(p.21, p.105)
- 「AFホールド」は、合焦後に被写体が動いて見失ったときにすぐにAFを再作動させるか、一定時間フォーカスを保持してからAFを作動させるかを設定します。

AFモード

- 1 **AF MODE** を押ししながら  を回す



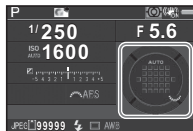
AFA 自動選択モード	被写体の状況に応じて AFS / AFC を自動で切り替え
AFS シングルモード	SHUTTER 半押しでピントが合うと、その位置にピントを固定 必要に応じてAF補助光が発光
AFC コンティニウスモード	SHUTTER 半押しの間、被写体に合わせ て常にピントを調整 ピントが合っていないくても撮影可能

●メモ

- **AUTO** モードは、**AFA** 固定です。

AFエリア

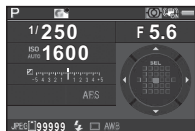
- 1 **AF MODE** を押ししながら  を回す



 オート (27点)	27点から自動でピント位置を決定
 ゾーンセレクト	選択した9点から自動的にピント位置を決定
 セレクト	27点中の任意の1点を選択
 セレクトエリア 拡大 (S)	27点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の8点から選択 AFC 時のみ
 セレクトエリア 拡大 (M)	27点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の24点から選択 AFC 時のみ
 セレクトエリア 拡大 (L)	27点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の26点から選択 AFC 時のみ
 スポット	27点中の中央の1点にピントを合わせる

オート (27点) / スポット以外は手順2へ

2 測距点を指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶ 測距点を移動

OK 中央に戻す

OK 長押し ▲▼◀▶の機能を測距点移動モード／ダイレクトキーモードに切り替え

メモ

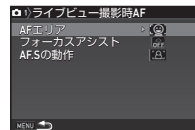
- **AUTO**モードのときは、「オート（27点）」固定です。
- **AF**モード／**AFエリア**は、ファインダー内でも確認ができます。また測距点が移動できるときは、ファインダー内に☒が表示されます。（p.19）
- **OK**長押しの測距点移動モードへの切り替えを、**Fx1**／**Fx2**／**Fx3**できるように設定することもできます。（p.102）**Fx1**／**Fx2**／**Fx3**に「測距点移動」を割り当てたときは、**OK**長押しの操作は無効です。
- 測距点移動時のボタンの動作を、**C3**メニュー「18 十字キーの機能」で設定できます。

Type1	測距点移動モード／ダイレクトキーモードを交互に切り替え
Type2	撮影待機状態では、測距点移動モードを優先

ライブビュー撮影のオートフォーカスの設定



☑1／☑1メニュー「ライブビュー撮影時AF」で、ライブビュー撮影時のオートフォーカスの設定ができます。



AFモード	AF.S / AF.C
AFエリア	顔検出／追尾／多点オート／セレクト／スポット
フォーカスアシスト	エッジ強調／エッジ抽出／オフ
AF.Sの動作	フォーカス優先／レリーズ優先

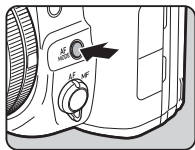
メモ

- **AF**モード／**AF**エリアは、**AF MODE**を押しながら☀／☂で変更ができます。（p.62）
- 機能ダイヤルに**AF**モード／**AF**エリア／**フォーカスアシスト**を割り当てると、スマートファンクションで変更ができます。（p.21、p.105）
- 「フォーカスアシスト」をエッジ強調／エッジ抽出に設定すると、ピントが合った部分の輪郭やコントラストが強調され、確認しやすくなります。**AF**／**MF**の両方で有効です。オートフォーカス作動中と動画の記録中は、フォーカスアシスト表示はされません。また、フォーカスアシスト表示中は、ヒストグラム表示と白とび警告は表示されません。

AFモード

対応するレンズを装着して、AFモードのときは、「AFモード」が変更できます。

- 1 **AF MODE** を押しながら  を回す



●メモ

- 「AFモード」を使用する場合は、カメラとレンズを最新のファームウェアにアップデートしてください。
アップデートについては、以下を参照してください。
<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/download/firmware/>

AFエリア

- 1 **AF MODE** を押しながら  を回す



 顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表示
 追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていないでも撮影可能
 多点オート	任意のエリアにピントを合わせる センサーを35分割（横7×縦5）し、AFエリアを任意の範囲に設定。AFエリアの大きさは、35分割中の1／9／15／25／35個のサイズから選択
 セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
 スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

モードは多点オート／セレクト／スポットから選択
多点オート／セレクトを選択した場合は、手順2へ

- 2 **OK** を長押し

3 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	AFエリアを移動
☂	(多点オート) AFエリア拡大／縮小
○	中央に戻す

4 OKを押す AFエリアが確定

メモ

- **AUTO**モードは、「顔検出」固定です。
- **OK** 長押し時のAFエリア移動モードへの切り替えを、**Fx1** / **Fx2** / **Fx3** できるように設定することもできます。(p.102) **Fx1** / **Fx2** / **Fx3** に「測距点移動」を割り当てたときは、**OK** 長押し時の操作は無効です。

AF位置を微調整する

C4

オートフォーカスのピント位置を微調整します。

1 C4メニュー「23 AF微調整」を選択、▶を押す 「23 AF微調整」画面が表示

2 一律／個別を選択、OKを押す

一律	すべてのレンズで同じ調整値を適用
個別	使用中のレンズの調整値を登録（最大20種類）

3 「設定」で値を調整



ボタン・ダイヤル操作

▶ / ☂ 右	前方方向に調整
◀ / ☂ 左	後方向に調整
○	リセット

4 OKを押す 設定値が登録

5 MENUを2回押す 撮影待機状態に戻る

3

撮影

ドライブモードを設定する

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示



- 2 ドライブモードを選択

1コマ撮影 (□)	通常の撮影
連続撮影 (□/□/□)	SHUTTER を押している間に連続して撮影 (p.65)
セルフタイマー (○/○/○)	SHUTTER を押してから12秒後／2秒後に撮影 (p.65)
ブラケット撮影 (□/□)	露出が異なる画像を連続して撮影 (p.66)
被写界深度ブラケット (□/□)	被写界深度 (絞り値) を変化させて連続撮影 (p.67)
モーションブラケット (□/□)	シャッター速度を変化させて連続撮影 (p.68)
ミラーアップ撮影 (MUP)	ミラーをアップして撮影 (p.69)
多重露出 (□/□/□)	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影 (p.69)
インターバル撮影 (INT/□/□/□)	一定間隔で自動的に連続撮影 (p.70)

● 注意

- 設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。(p.115)

● メモ

- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。📷 5メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに「1コマ撮影」に戻ります。(p.110)
- セルフタイマーを使用するドライブモードを選択したときは、📷 4メニュー「Shake Reduction」は自動的にオフになります。オフにしたくないときは、📷 3メニュー「19 SRの自動オフ」で設定します。

ファインダーから光が入ってしまうとき

セルフタイマーを使用するドライブモードを選択しているときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを利用してください。(p.51)

連続撮影

- 1 ドライブモード画面で を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択、**OK**を押す

	連続撮影（高速）
	連続撮影（中速）
	連続撮影（低速）

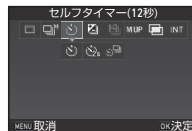
撮影待機状態に戻る

メモ

- ・スマートファンクションで連続撮影の速度を切り替えることもできます。(p.21)
- ・1メニュー「ファインダー撮影時AF」の「AFモード」が**AF.S**のときのオートフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定されます。(p.60)

セルフタイマー

- 1 ドライブモード画面で を選択、▼を押す



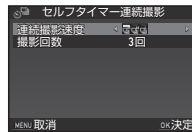
- 2 ◀▶で選択

	セルフタイマー（12秒）
	セルフタイマー（2秒）
	セルフタイマー連続撮影

/を選択したときは、手順6へ

- 3 **INFO**を押す

- 4 連続撮影速度／撮影回数を設定



- 5 **OK**を押す
手順1の画面に戻る

- 6 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

- 7 **SHUTTER** 半押し→全押し
12秒後または2秒後に撮影

ブラケット撮影

露出を段階的に変化させて連続して撮影します。

- 1 ドライブモード画面で  を選択、▼を押す



- 2 ◀▶で選択

	ブラケット撮影
	ブラケット撮影+セルフタイマー

を選択したときは、手順6へ

- 3 **INFO**を押す

- 4 「セルフタイマー」を設定



- 5 **OK**を押す
手順1の画面に戻る

- 6 撮影枚数とブラケット幅を設定

ボタン・ダイヤル操作

	撮影枚数選択
	ブラケット幅変更
	露出補正
	リセット

- 7 **OK**を押す

撮影待機状態に戻る

- 8 撮影する

撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

●メモ

- ブラケット幅は、**C1**メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。
- C2**メニューで、ブラケット撮影に関する以下の設定ができます。

9 ブラケット撮影順	撮影順を変更
10 ワンプッシュブラケット	1回のリリースでまとめて撮影

- 機能ダイヤルに「ブラケット幅」を割り当てると、スマートファクションでブラケット幅が変更できます。（p.21、p.105）

被写界深度ブラケット

露出を変えずに、絞り値を段階的に変化させて3枚連続して撮影します。

Avモードのときだけ選択できます。

- 1 **ドライブモード画面で**  **を選択、▼を押す**



- 2 **◀▶で選択**

	ブラケット撮影
	ブラケット撮影+セルフタイマー

を選択したときは、手順6へ

- 3 **INFO**を押す

- 4 「セルフタイマー」を設定



- 5 **OK**を押す
手順1の画面に戻る

- 6 で撮影順とブラケット幅を指定する

ボタン・ダイヤル操作

	現在の設定から絞りを絞って撮影
	現在の設定から絞りを開いて撮影
	リセット

- 7 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

- 8 **撮影する**
1回のリリースで3枚撮影
撮影待機状態に戻る

メモ

- ブラケット幅は、**C1**メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。

注意

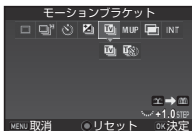
- 絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置以外で使用しているときは、被写界深度ブラケットは選択できません。

モーションブラケット

露出を変えずに、シャッター速度を段階的に変化させて3枚連続して撮影します。

Tvモードのときだけ選択できます。

1 ドライブモード画面で  を選択、▼を押す



2 ◀▶で選択

	ブラケット撮影
	ブラケット撮影+セルフタイマー

を選択したときは、手順6へ

3 INFOを押す

4 「セルフタイマー」を設定



5 OKを押す
手順1の画面に戻る

6 で撮影順とブラケット幅を指定する

ボタン・ダイヤル操作

	右	現在の設定からシャッター速度を高速にして撮影
	左	現在の設定からシャッター速度を低速にして撮影
		リセット

7 OKを押す
撮影待機状態に戻る

8 撮影する
1回のリリースで3枚撮影
撮影待機状態に戻る

メモ

- ブラケット幅は、C1メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。

ミラーアップ撮影

- 1 ドライブモード画面で **MUP** を選択、**OK** を押す
撮影待機状態に戻る



- 2 **SHUTTER** 半押し→全押し
ミラーがアップし、AEロック

- 3 もう一度 **SHUTTER** 全押し
撮影後、ミラーダウン

メモ

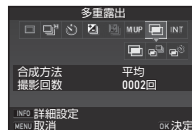
- ミラーアップ後1分経過すると、自動的にミラーが下がります。

注意

- 4メニュー「Shake Reduction」は、オフ固定です。

多重露出

- 1 ドライブモード画面で を選択、**▼**を押す



- 2 で選択

	多重露出
	多重露出+連続撮影
	多重露出+セルフタイマー

設定を変更しない場合は、手順6へ

- 3 **INFO** を押す

- 4 撮影条件を設定



合成方法	平均／加算／比較明から選択
撮影回数	2～2000回で設定
連続撮影速度 ／セルフタイマー	それぞれの動作モードを選択

- 5 **OK** を押す
手順1の画面に戻る

- 6 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

7 撮影する

クイックビューが表示

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作



画像を破棄し、1回目から撮影し直し



撮影済み画像を保存し、メニューを表示

3

撮影

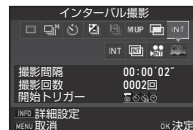
●メモ

- 「合成方法」は、それぞれ以下のように合成されます。

平均	露光量を平均して合成
加算	露光量を加算して合成
比較明	1枚目の画像と比較して明るい部分だけを置き換えて合成

インターバル撮影

1 ドライブモード画面でINTを選択、▼を押す



2 ◀▶で選択

INT	インターバル撮影 一定間隔で連続撮影し、それぞれ保存
	インターバル合成 一定間隔で撮影した画像を1枚に合成
	インターバル動画 一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイル (Motion JPEG、拡張子: .AVI) で保存
	スターストリーム インターバル合成で撮影した静止画を1つの動画ファイル (Motion JPEG、拡張子: .AVI) で保存

設定を変更しない場合は、手順6へ

3 INFOを押す

4 撮影条件を設定



記録サイズ	[4K] / [FullHD] / [HD] から選択 (👤 / 📷 のみ)
撮影間隔	2秒間～24時間で設定
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	2～2000回 (👤 / 📷 は8回～) で設定
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時／セルフタイマー／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
合成方法	平均／加算／比較明から選択 (📷 のみ)
途中経過保存	途中の画像を保存する場合は☑ (📷 のみ)
フェードアウト	光跡をフェードアウトするレベルを選択 (📷 のみ)

5 OKを押す

手順1の画面に戻る

6 OKを押す

撮影待機状態に戻る

7 SHUTTERを押す

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始
撮影を途中で終了する場合は、電源を切る
設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

メモ

- INT / 📷 では、新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- 「撮影間隔」の最小値は、デジタルフィルター／明瞭コントロール／肌色補正の設定時は5秒、「HDR撮影」設定時は10秒になります。
- 「撮影間隔」で設定した間隔で2回目以降の露光が開始されません。「撮影間隔」よりもシャッター速度が長い場合は、途中の撮影がスキップされます。たとえば「撮影間隔」が2秒でシャッター速度が3秒の場合、2回目（撮影開始から2秒後）は1回目の露光中のため撮影されず、結果的に指定した撮影回数のコマ数を撮影せずに終了します。このような場合は、C2メニュー「11 インターバル撮影の動作」で「撮影待機時間」に設定すると、各コマの撮影が終了してから指定した間隔で撮影ができます。「11 インターバル撮影の動作」の設定によって、手順4の画面の表示が変わります。
- INT / 📷 / 👤 / 📷 では、1回目のフォーカス位置に固定して撮影されます。撮影ごとにオートフォーカスを作動させる場合は、C2メニュー「12 インターバル撮影中のAF」を「フォーカスロックしない」に設定してファインダー撮影をします。
- 📷 / 📷 の撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。
- 📷 では、4メニュー「Shake Reduction」はオフ固定です。

ホワイトバランスを設定する

1 撮影待機状態で▼を押す

ホワイトバランス設定画面が表示
ファインダー撮影時にデジタルプレビューを表示するとき、**[Fn]**を押す

2 ホワイトバランスを選択

端 /  / **K**は  で種類／番号を選択



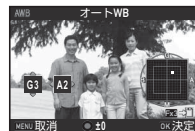
AWB	オートWB
	マルチパターンオートWB
	太陽光
	日陰
	曇天
	屋光色蛍光灯
	屋白色蛍光灯
	白色蛍光灯
	電球色蛍光灯
	白熱灯
CTE	Color Temperature Enhancement
	マニュアルWB1~3
K	色温度1~3

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

[Fn]	設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー
[Fn3]	プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

微調整が不要なときは、手順5へ

3 **[INFO]**を押す 微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	G-M（グリーンーマゼンタ）間
◀▶	B-A（ブルー－アンバー）間
○	リセット

4 **[OK]**を押す 手順2の画面に戻る

5 **[OK]**を押す 撮影待機状態に戻る

●注意

- ・ **AUTO** モードのときは、「オートWB」固定です。
- ・ ドライブモードがミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影のときは、手順1のデジタルプレビュー操作はできません。

●メモ

- ・ 「マルチパターンオートWB」は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して自動調整します。（ モード時は不可）
- ・ **C2**～**3** メニューでホワイトバランスに関する以下の設定ができます。

13 WBの光源調整範囲	固定／自動調整
14 白熱灯下のオートWB	強／弱
15 フラッシュ発光時のWB	オートWB／マルチパターン オートWB／変更しない
16 色温度ステップ	ケルビン／ミレッド

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.72)の手順2で  を選択

- 2  で1~3を選択



- 3 測定する照明の下で白い被写体を選択し、**SHUTTER** 全押し
撮影画像表示

- 4     で測定範囲を指定
 で中央に戻る



- 5 **OK** を押す

ホワイトバランス設定画面に戻る

測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。**OK** で再測定

メモ

- 再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスを  1~ 3に登録できます。(p.81)

色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.72)の手順2で **K** を選択

- 2  で1~3を選択

- 3 **INFO** を押す

- 4 色温度を調整
2500~10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作

	100ケルビン単位
	1000ケルビン単位
 	微調整

- 5 **OK** を押す
ホワイトバランス設定画面に戻る

メモ

- C3メニュー「16 色温度ステップ」で「ミレッド」に設定すると、ミレッド単位で色温度が設定できます。 で20ミレッド単位、 で100ミレッド単位で変更できます。その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

仕上がりイメージを決めて撮影する

少し変わった雰囲気の写真の撮影したいときなどは、でき上がりイメージを先に決めてから撮影します。
いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を見つけてください。

3

撮影

カスタムイメージ

カメラアイコン / 動画アイコン 1

- 1 **カメラアイコン / 動画アイコンメニュー「カスタムイメージ」を選択、
▶を押す**
カスタムイメージ設定画面が表示

2 画像仕上を選択



オートセレクト	ほのか
鮮やか	フラット
ナチュラル	銀残し
人物	リバーサルフィルム
風景	モノトーン
雅 (MIYABI)	クロスプロセス
ポップチューン	

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

[Fx1]	設定を適用した背景画像をデジタルレビュー
[Fx2]	レビュー画像を保存（保存可能時のみ）

「オートセレクト」を選択したときとパラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3

INFO を押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	パラメーター選択
◀▶	値調整
	コントラスト／コントラストハイライト調整／コントラストシャドー調整切り替え
	シャープネス／ファインシャープネス／エクストラシャープネス切り替え（モード時は不可）
○	リセット

5

MENU を押す

手順2の画面に戻る
パラメーターの設定値が表示

6

MENU を2回押す

撮影待機状態に戻る

● 注意

- ・ **AUTO** モードのときは、「オートセレクト」固定です。
- ・ ドライブモードがミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影のときは、手順2のデジタルレビュー操作はできません。
- ・ 機能ダイヤルに「カスタムイメージ」を割り当てると、スマートファンクションで画像仕上が変更できます。（p.21、p.105）初期設定では、C1に割り当てられています。

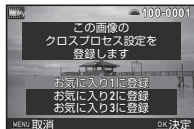
撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

「クロスプロセス」の「シャッフル」を設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

- 1 再生モードの1画像表示で▼を押す
再生モードパレットが表示

- 2 「クロスプロセス登録」を選択、**OK**を押す
最新画像から順にクロスプロセス画像を検索
見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と表示

- 3  でクロスプロセス画像を選択



- 4 登録する番号を選択、**OK**を押す
指定した画像の設定がお気に入り1~3に登録

●メモ

- 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.74)の手順2で「クロスプロセス」を選択し、パラ미터で気に入った1~3を選択して呼び出します。

デジタルフィルター

 3 /  2

- 1  3 /  2メニュー「デジタルフィルター」を選択、**▶**を押す

デジタルフィルター設定画面が表示

- 2 フィルターを選択
デジタルフィルター撮影を終了するときは「フィルターオフ」を選択



色抽出
色の置換え
トイカメラ
レトロ
ハイコントラスト

シェーディング
ネガポジ反転
ソリッドモノカラー
ハードモノクローム

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

[Fx1] 設定を適用した背景画像をデジタルレビュー

[Fx3] プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラ미터の変更が不要なときは、手順6へ

- 3 **[INFO]** を押す
パラ미터設定画面が表示

3

撮影

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値調整

5 OK を押す

手順2の画面に戻る

6 OK を押す

7 MENU を押す

撮影待機状態に戻る

● 注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- ドライブモードがミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

● メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。(p.87)

補正して撮影する

明るさを補正する

ハイライト補正／シャドー補正



ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび／黒つぶれを防ぎます。
 カメラ2／ムービー2メニュー「D-Range設定」で設定します。



● 注意

- ISO感度をISO 200未満に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

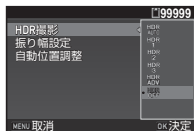
● メモ

- モードのときのハイライト補正は、オート／オフが設定できます。

露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。

- 1 カメラメニュー「HDR撮影」を選択、▶を押す
「HDR撮影」画面が表示

- 2 タイプを選択、OKを押す



- 3 「振り幅設定」で露出を変化させる幅を選択
±1EV / ±2EV / ±3EVから選択

- 4 「自動位置調整」を設定

☒	自動位置調整を行う
☐	自動位置調整を行わない

- 5 MENU を2回押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- スマートファクションで HDR のタイプを変更することもできます。(p.21)

注意

- B / 動画モードでは、HDR撮影はできません。
- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- ドライブモードがインターバル撮影 / インターバル動画に設定されているときは、「自動位置調整」はオフ固定です。
- 「自動位置調整」をオフに設定したときは、カメラメニュー「Shake Reduction」はオフ固定です。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

- カメラメニュー「レンズ補正」で以下の補正ができます。



ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

メモ

- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ設定できます。(p.116) また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリを装着した場合は、設定は無効です。
- カメラメニュー「記録設定」の「記録形式」がRAW / RAW+の場合は、補正情報がRAW ファイルのパラメーターに記録され、RAW 展開時にオン / オフが選択できます。また、RAW 展開時には「フリッジ補正」が設定できます。(p.90)

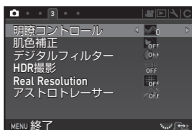
画質・質感を補正する

質感をコントロールする



凹凸感や質感を、画像処理で-4～+4に変更できます。

☑3メニュー「明瞭コントロール」で設定します。

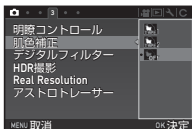


肌をきれいに撮影する



人物の肌の質感を向上させます。

☑3メニュー「肌色補正」で設定します。



Type1	顔検出機能で肌色を特定し、肌色部をより良い肌色に変換 顔を検出したときのみ動作
Type2	画像全体をやわらかく仕上げ、肌のきめなどを目立たなくする

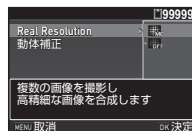
より高精細な画像を撮影する



「Real Resolution（リアル・レゾリューション・システム）」では、Shake Reductionユニットを移動して1画素ずつずらした複数の画像を合成することで、静止物の撮影で高精細な画像を得ることができます。

1 ☑3メニュー「Real Resolution」を選択、▶を押す
「Real Resolution」画面が表示

2 「Real Resolution」でオン／オフを選択、OKを押す



3 「動体補正」でオン／オフを選択、OKを押す
オンに設定すると、動体を検出したときにモザイク状のノイズを補正して画像を合成

4 MENUを2回押す
撮影待機状態に戻る

5 SHUTTERを押す
1回のリリースで、電子シャッターが複数の画像を連続撮影
4枚の画像が順に表示された後、合成処理

●注意

- B／[M]モードでは、Real Resolutionは利用できません。
- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- ☑4メニューのローパスセレクト／Shake Reductionは、オフ固定です。
- ☑2メニュー「シャッターモード」は、「電子シャッター」固定です。

メモ

- 撮影時は、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。ドライブモードのセルフタイマー／ミラーアップ撮影の利用をお勧めします。

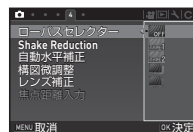
モアレを低減させる



Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパスフィルタのようなモアレ低減効果を得ることができます。

1 4メニュー「ローパスセクター」を選択、▶を押す

2 タイプを選択、OKを押す



Type1	解像とモアレ低減のバランスをとって撮影
Type2	モアレ低減優先
ブラケット撮影 (2枚)	オフ／Type2の順に2枚連続して撮影
ブラケット撮影 (3枚)	オフ／Type1／Type2の順に3枚連続して撮影

注意

- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)
- Bモードのときは、「ブラケット撮影」は選択できません。
- ドライブモードが1コマ撮影／セルフタイマー (12秒／2秒) のときのみ、ブラケット撮影ができます。
- 3メニュー「HDR撮影」を設定しているときは、ローパスセクターはオフ固定です。
- シャッター速度が1/1000秒より高速な場合は、十分な効果が得られません。

メモ

- 機能ダイヤルに「ローパスセクター」を割り当てると、スマートファクションでタイプが変更できます。(p.21、p.105) 初期設定では、C2に割り当てられています。

構図を補正する



Shake Reductionユニットを移動させることによって、構図の位置と傾きを補正します。ライブビュー撮影時に、三脚にカメラを固定した状態で構図を調整したいときなどに使用します。

1

 4メニュー「構図微調整」でオンを選択

2

 MENUを押す
撮影待機状態に戻る

3

 [L]/[LV]/[レバー]を[L]に合わせる
ライブビューになり、「構図を調整してください」と表示

4

 構図を調整する
補正量のステップ数が画面右上に表示


ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	構図を移動（最大16ステップ）
◐	傾きを補正（最大8ステップ。移動量が8ステップ以上のときは不可）
○	リセット

5

 OKを押す
ライブビューの撮影待機状態に戻る

●注意

- ・「アストロトレーサー」設定時は、構図微調整はできません。

●メモ

- ・4メニュー「ライブビュー表示」の「グリッド表示」をオンに設定しているときは、手順4の画面にもグリッドが表示されます。
- ・構図微調整位置は、ライブビューを終了したり電源を切っても記憶されています。電源を切ったときに調整位置をリセットしたい場合は、5メニュー「モードメモリ」で「構図微調整範囲」をオフに設定します。（p.110）

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、1メニュー (p.31) のほかに、再生モードパレットで指定します。

再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。



項目	機能	参照
 画像回転 *1	画像の回転情報を変更	p.84
 デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工	p.87
 色モアレ補正 *1 *2	色モアレが発生した画像を補正	p.87
 リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更	p.86
 トリミング *1	画像の必要な部分だけを切り取り	p.86
 プロテクト	画像を誤って消去しないように保護	p.110
 スライドショー	画像を連続再生	p.84
 マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	p.73
 クロスプロセス登録	カスタムイメージのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	p.75
 RAW展開 *3	RAW画像をJPEG／TIFFに変換して保存	p.90
 動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去	p.89

*1 TIFF画像／動画表示時は実行不可

*2 RAW画像／TIFF画像表示時は実行不可

*3 RAW画像保存時のみ実行可能

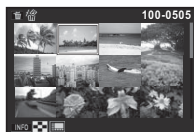
*4 動画表示時のみ実行可能

再生方法を変更する

複数画像を表示する

画像を複数枚（6／12／20／35／80画像）ずつ表示します。

- 1 再生モードで  を左に回す
複数画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

 選択枠を移動

 ページ切り替え

 複数画像表示
選択画面



 選択消去

- 2 **OK** を押す
選択画像が1画像表示

選択して消去する

- 1 「複数画像を表示する」(p.82) の手順1の画面で  を押す
- 2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

 選択枠を移動

OK 消去画像を選択／解除

 範囲指定

 選択画像を1画像表示
 で画像切り替え

画面左上には選択画像数が表示

- 3  を押す
消去の確認画面が表示

- 4 「消去」を選択、**OK** を押す

メモ

- 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
 - RAW展開 (p.90)
 - プロテクト (p.110)

フォルダーごとに表示する

- 1 「複数画像を表示する」(p.82) の手順1の画面で
☂️ を左に回す
フォルダーが表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶ 選択枠を移動

☒ フォルダー消去

- 2 OKを押す
フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

- 1 「フォルダーごとに表示する」(p.83) の手順1の画面で消去フォルダーを選択、☒を押す
消去の確認画面が表示
- 2 「消去」を選択、OKを押す
フォルダーとフォルダー内画像が消去
フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消去／すべて残すを選択

撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 1 「複数画像を表示する」(p.82) の手順1で INFOを押す
複数画像表示選択画面が表示

- 2 「撮影日別表示」を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ 撮影日選択

◀▶ 撮影日内の画像を選択

☂️ 右 選択画像を1画像表示

☒ 選択画像を消去

- 3 OKを押す
選択画像が1画像表示

連続して再生する

- 1 再生モードパレットで「スライドショー」を選択
スライドショー開始



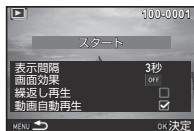
ボタン・ダイヤル操作

OK	一時停止／再開
◀	前の画像を表示
▶	次の画像を表示
▼	停止
🔊	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

メモ

- ・ 1メニュー「スライドショー」で、スライドショーの表示間隔／画面効果／繰返し再生／動画自動再生について変更できます。この画面からスライドショーを開始することもできます。「動画自動再生」をオフにしたときは、スライドショー再生中に **OK** を押すと動画が再生されず。



画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。1メニュー「画面表示」の「画像の自動回転」がオン（初期設定）に設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されます。

回転情報は、以下の手順で変更できます。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで「画像回転」を選択
画像を90°ずつ回転させた画面が表示

- 3 ▲▼◀▶で回転方向を選択、**OK**を押す
回転情報が更新、1画像表示に戻る



注意

- ・ C3メニュー「20 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- ・ 次のときは、回転情報を変更できません。
 - ・ プロテクトされた画像
 - ・ 回転情報タグがない画像
- ・ 1メニュー「画面表示」の「画像の自動回転」がオフに設定されているとき
- ・ 動画は回転できません。

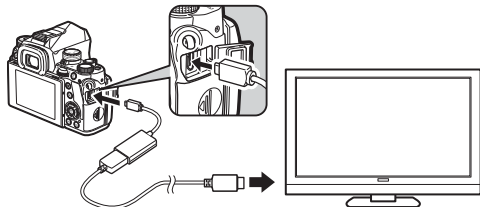
AV機器と接続する

HDMI®端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。本機のUSB端子（micro B）は、SlimPort®に対応しています。市販のHDMI®変換アダプターと、対応するHDMI®ケーブルを用意してください。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 HDMI®変換アダプターとHDMI®ケーブルを接続する

3 カメラの端子カバーを開き、USB／外部映像出力兼用端子にHDMI®変換アダプターを接続する



4 HDMI®ケーブルのもう一方の端子をAV機器の映像入力端子に接続する

5 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラが外部映像出力モードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

●注意

- AV機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。
- 一部のHDMI®変換アダプターは、使用できない場合があります。動作確認済みのHDMI®変換アダプターは次の製品です。型番：SP6001（Analogix Semiconductor社製）
- HDMI®変換アダプターに外部電源を供給しないでください。カメラが故障する場合があります。
- HDMI®ケーブルとの相性によっては、映像が出力できない場合があります。電子回路が内蔵されていないタイプのHDMI®ケーブルを使用してください。
- MHL®規格のHDMI®変換アダプターは使用できません。

●メモ

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択されます。うまく映らない場合は、 3メニュー「外部映像出力」で設定を変更してください。

画像を加工・編集する

画像のサイズを変更する

●注意

- リサイズ／トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。
- すでに最小サイズにリサイズ／トリミングされた画像は実行できません。

4

再生

記録サイズを変更する

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで「リサイズ」を選択 記録サイズ選択画面が表示

3 ◀▶で記録サイズを選択、

OKを押す

元の画像より小さいサイズから
選択可能

保存の確認画面が表示



4 「保存」を選択、**OK**を押す

画像の一部を切り取る

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで「トリミング」を選択 トリミング範囲指定画面が表示

3 トリミングする大きさ／範囲を指定



ボタン・ダイヤル操作



トリミングサイズ変更



トリミング範囲移動



アスペクト比／画像回転設定



トリミング範囲回転（可能時のみ）

4 **OK**を押す

保存の確認画面が表示

5 「保存」を選択、**OK**を押す

色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで「色モアレ補正」を選択

補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」と表示

3 ◀▶ で強度を選択、OK を押す

保存の確認画面が表示



4 「保存」を選択、OK を押す

● 注意

- 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工する

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで「デジタルフィルター」を選択

フィルター選択画面が表示

3 フィルターを選択

☀ で画像切り替え



ベースメイク

色抽出

色の置換え

トイカメラ

レトロ

ハイコントラスト

シェーディング

ネガポジ反転

ソリッドモノカラー

ハードモノクローム

ドラマチックアート

デッサン

水彩画

パステル

ポストリゼーション

ミニチュア

ソフト

クロス

フィッシュアイ

スリム

モノトーン

パラメーターの変更が不要なときは、手順7へ

4 INFO を押す

パラメーター設定画面が表示

5 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値調整

6 OKを押す

手順3の画面に戻る

7 OKを押す

保存の確認画面が表示

8 フィルターを重ねる／保存を選択、OKを押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィルターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

●注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影したJPEG／RAW画像のみです。
- 撮影時にHDR撮影／Real Resolutionを設定したRAW画像を、デジタルフィルターで加工することはできません。

●メモ

- フィルターは撮影時に設定したデジタルフィルター (p.75) も含めて、20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示

2 再生モードパレットで「デジタルフィルター」を選択

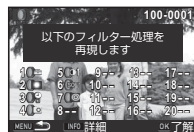
3 「フィルターを再現する」を選択、OKを押す

選択画像に設定済みのフィルターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合は INFO を押す

再度 INFO を押すと元の画面に戻る



5 OKを押す

画像選択画面が表示

6 画像を選択、OKを押す

フィルター処理されていない画像のみ選択可能
保存の確認画面が表示



7 「保存」を選択、OKを押す

●メモ

- 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを設定する前の画像を呼び出すことができます。

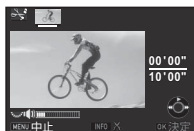
動画を編集する

- 1 1画像表示で対象動画を表示
- 2 再生モードパレットで「動画編集」を選択
動画編集画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマが表示

4箇所（5分割）まで指定可能



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	（一時停止中）コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	（一時停止中）コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
🔊	音量調節
INFO	分割位置指定／解除

消去しない場合は、手順7へ

4 [画] を押す

消去指定画面が表示

5 ◀▶ で選択枠を移動、OK を押す

消去範囲を選択（複数選択可能）
再度 OK を押すと、選択解除



6 MENU を押す

手順3の画面に戻る

7 OK を押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、OK を押す

●メモ

- 分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向（後ろから前）に順に指定します。途中に分割位置を追加／解除はできません。

RAW画像を展開する

RAW画像をJPEG／TIFF形式に変換して保存します。

- 1 再生モードパレットで「RAW展開」を選択
処理単位の選択画面が表示

- 2 処理単位を選択、**OK**を押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同一設定で展開

「1画像選択」は手順6へ
画像選択／フォルダー選択画面が表示

- 3 画像／フォルダーを選択
フォルダーを選択した場合は手順5へ

☞ 画像の選択方法 (p.82)

- 4 **INFO**を押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

- 5 パラメーターの設定方法を選択、**OK**を押す



撮影時の設定で展開	記録形式／アスペクト比／JPEG記録サイズ／JPEG画質／色空間のみ設定
設定を変更して展開	全パラメーターが設定可能

6 パラメーターを設定



ホワイトバランス	ディストーション補正
カスタムイメージ	周辺光量補正
増減感	倍率色収差補正
明瞭コントロール	回折補正
肌色補正	フリッジ補正
デジタルフィルター	記録形式
HDR撮影	アスペクト比
Real Resolution	JPEG記録サイズ
シャドー補正	JPEG画質
高感度NR	色空間

ボタン・ダイヤル操作

	(1画像選択時) 画像切り替え
	パラメーター選択
	値変更
INFO	画像確認
OK	詳細設定

- 7 でJPEG- / TIFF- を選択
 で記録形式変更

- 8 **OK**を押す
保存の確認画面が表示

- 9 「保存」を選択、**OK**を押す
「1画像選択」の場合は継続／終了を選択、**OK**を押す

● 注意

- RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。
- ドライブモードの多重露出／インターバル合成で撮影したRAW画像は、撮影時のレンズ補正の設定に従ってRAW展開されます。RAW展開時に、レンズ補正の設定を変更することはできません。

● メモ

- 手順 2 で複数画像選択／フォルダー選択を選択した場合は、新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG／TIFF画像が保存されます。
- パラメーターのHDR撮影／Real Resolutionは、撮影時の設定によっていずれかの設定ができます。
- 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、パソコンでRAW展開ができます。

パソコンで利用する

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。
micro B 端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

接続モードを設定する



パソコンで行う操作によって、**3**メニュー「USB接続」を設定します。

MSC (初期設定)	カメラをリムーバブルディスクとしてパソコンで認識させ、メモリーカードのデータをパソコンにコピー (p.92)
PTP	パソコンからカメラを操作し、テザー撮影 (p.93)

●メモ

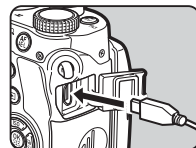
- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.131)を参照してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。(p.40)

メモリーカードの画像をコピーする

1 **3**メニュー「USB接続」を「MSC」に設定する

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、
USB / 外部映像出力兼用端子にUSBケーブルを接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

●注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。
- 手順5でパソコンの画面に「KP」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してOKボタンをクリックします。

パソコンから本機を操作する

販売の「IMAGE Transmitter 2」を利用すると、パソコンから本機を操作して撮影する「テザー撮影」ができます。また、撮影しながら、直接パソコンに画像を保存することもできます。

1 3メニュー「USB接続」を「PTP」に設定する

2 カメラの電源を切る

3 USBケーブルで本機とパソコンを接続する

☞ パソコンと接続する (p.92)

4 カメラの電源を入れる

5 パソコンで「IMAGE Transmitter 2」を起動する

IMAGE Transmitter 2が起動し、本機を認識

●メモ

- 「IMAGE Transmitter 2」の詳細は、下記アドレスで公開している『使用説明書 [操作編]』を参照してください。
<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>
- テザー撮影では、1メニュー「ライブビュー撮影時AF」の「AF.Sの動作」の設定にかかわらず、「リリース優先」で動作します。(p.61)

通信端末で利用する

本機はWi-Fi™ 機能を内蔵しており、無線LAN経由でスマートフォンやタブレットなどの通信端末と直接接続し、本機を操作したり画像を共有することができます。

Wi-Fi™ を有効にする

電源を入れたときは、Wi-Fi™ 機能は無効になっています。以下のいずれかの操作で有効に設定します。

- メニューで設定する (p.94)
- Fn1 を利用する (p.94)

Wi-Fi™ 機能が有効になると電子音が鳴り、ステータススクリーン/ライブビューに無線LANの通信状態を表すアイコン (白) が表示されます。📶 (グレー) が表示されているときは、通信端末と正しく接続されていません。

●メモ

- Wi-Fi™ 機能を有効に設定しても、電源を入れ直すとき無効になります。
- Wi-Fi™ の通信状態が接続中／画像転送中のときは、オートパワーオフは動きません。未接続状態でオートパワーオフに移行したときは、Wi-Fi™ 機能は無効になります。オートパワーオフから復帰すると、有効になります。
- USB接続中／外部映像出力中は、Wi-Fi™ 機能は無効です。

●注意

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Wi-Fi™ を使用しないでください。
- Wi-Fi™ を使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。
- 無線LAN 機能を内蔵したメモリーカード (Eye-Fi カードやFLUカードなど) を利用する場合は、電波が干渉することがあるため、本機のWi-Fi™ を無効に設定してください。



1 3メニュー「Wi-Fi」を選択、▶を押す
「Wi-Fi」画面が表示

2 「動作モード」をオンに設定
Wi-Fi™を無効にするときはオフ
に設定



3 MENU を2回押す

メモ

- 手順2の画面の「通信情報」で、無線LANのSSID／パスワード／MACアドレスが確認できます。また「通信設定のリセット」で、設定を初期状態に戻すことができます。

Fx1 を利用する

Wi-Fi™をよく利用する場合は、Fx1に機能を割り当てて簡単にオン／オフを切り替えることができます。

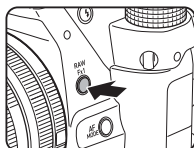
1 Fx1に「Wi-Fi」を設定

🔗 Fx1の機能を設定する (p.102)

2 撮影待機状態で Fx1 を長押しする

電子音が鳴り、画面に「Wi-Fi オン」と表示

Wi-Fi™機能を無効にするときは、もう一度 Fx1 を長押しする



通信端末で操作する

本機と通信端末をWi-Fi™で接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末に本機のライブビュー画像を表示し、通信端末を操作して露出設定や撮影を行う
画像閲覧	本機のメモリーカードに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込む

Image SyncはiOSとAndroid™に対応しています。Image Syncは、App StoreまたはGoogle Play™からダウンロードしてください。対応OSなどの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。

メモ

- 本書に掲載しているImage Syncの画面イラストは開発途中のものであり、実際の画面と異なる場合があります。また、アプリやOSのバージョンアップ等により画面構成などが変更されることがあります。
- 通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書等を参照してください。

通信端末とカメラを接続する

本機と通信端末をWi-Fi™で接続し、通信端末にインストールしたImage Syncを起動します。

Android端末の場合

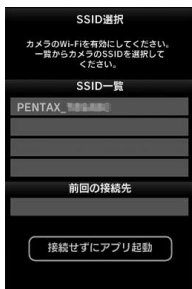
1 通信端末で無線 LAN (Wi-Fi™) 機能をオンに設定する

2 通信端末でImage Syncを起動する
通信端末に「機種選択画面」が表示

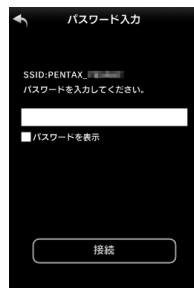
3 「PENTAX KP」をタップする
通信端末に「SSID 選択」画面が表示



4 「SSID一覧」で
「PENTAX_xxxxxx」をタップする
「パスワード入力」画面が表示



5 パスワードを入力し、「接続」をタップする
通信端末と本機がWi-Fi™で接続
Image Syncの画面に画像一覧が表示



メモ

- パスワードの初期設定は、3メニュー「Wi-Fi」の「通信情報」で確認できます。(p.94)

- 1 通信端末で無線 LAN (Wi-Fi™) 機能をオンに設定する
- 2 検出されたネットワークの一覧から「PENTAX_xxxxxx」をタップする
- 3 パスワードを入力し、「接続」をタップする

通信端末と本機がWi-Fi™で接続

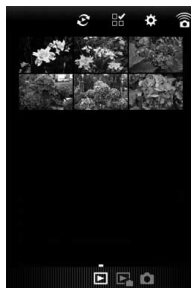


- 4 通信端末でImage Syncを起動する
- Image Syncが起動し、画像一覧が表示

Image Syncの画面

画面を左右にフリックすると、動作モードが切り替わります。

アプリ画像一覧



カメラ画像一覧



カメラモード

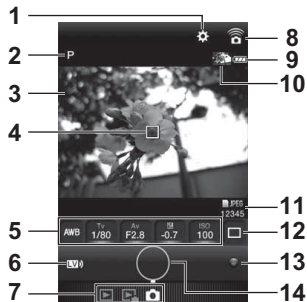


メモ

- 画面下に表示されているアイコンをタップして動作モードを切り替えることもできます。

通信端末から撮影する

Image Syncの撮影画面では、カメラのライブビュー画像と撮影に関するボタンが表示されます。



- 1 設定 (p.100)
- 2 撮影モード
- 3 ライブビュー
- 4 AF枠
- 5 ホワイトバランス/シャッター速度/絞り値/露出補正/ISO感度
- 6 ライブビューオン/オフ切り替え
- 7 動作モード切り替え
- 8 通信アイコン
- 9 バッテリー残量
- 10 直前に撮影した画像のサムネイル
タップすると、カメラ画像一覧画面を表示
- 11 記録形式/撮影可能枚数
- 12 ドライブモード
- 13 グリーンボタン
- 14 シャッターボタン

- 1 カメラで基本的な設定を行う
- 2 Image Syncの撮影画面でライブビューを確認する



- 3 必要に応じてImage Syncで設定を変更する



項目をタップし、一覧から値を選択



5 共有

4 フォーカスモードが**AF**のときは、ライブビュー画像内のフォーカスする位置をタップする
タップした位置でオートフォーカスが作動

5 シャッターボタンをタップ
撮影画像がサムネイルに表示

●注意

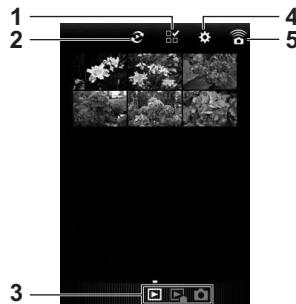
- ・モードとモードは、カメラ側で切り替えてください。
- ・ドライブモードが連続撮影（H）／インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画／スターストリーム有的时候は、Image Syncから撮影できません。
- ・撮影された画像は、カメラのメモリーカードに保存されます。メモリーカードの空き容量が足りない場合は、撮影できません。

●メモ

- ・ライブビュー画像内をタップして撮影することもできます。「設定」画面の「タッチAF」で設定します。（p.100）
- ・Image Syncから撮影するときは、AFモードの設定にかかわらず、**AF.S**で動作します。また、1メニュー「ライブビュー撮影時AF」の「AF.Sの動作」の設定にかかわらず、「レリーズ優先」で動作します。（p.61）

画像を開覧する

通信端末またはカメラ内の画像を開覧できます。



- 1 複数画像選択
- 2 アルバム切り替え（アプリ画像一覧のみ）
- 3 動作モード切り替え
- 4 設定（p.100）
- 5 通信アイコン

画像をタップすると、画像と撮影情報が表示されます。



タッチ操作

左右フリック

画像切り替え

ピンチアウト／ピンチイン

拡大／縮小

アルバムの切り替え

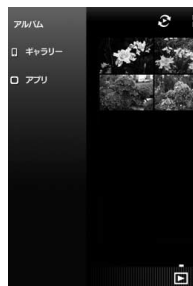
アプリ画像一覧画面で、アプリ内の画像を表示するかギャラリー（またはカメラロール）の画像を表示するかを切り替えます。

1 をタップする



2 アルバムを選択する

選択した場所の画像が表示



複数画像の選択

1 をタップする



2 選択する画像をタップする

青のチェックマークが表示

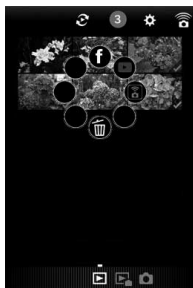


3 いずれかの画像を長押しする

5

共有

4 動作を選択する



5 共有

メモ

- 一覧表示／撮影情報表示のときにも対象の画像上で長押しすると手順4の画面が表示され、動作が選択できます。

設定を変更する

1 設定アイコンをタップする



「設定」画面が表示



以下の設定が可能

タッチAF	ライブビュー内をタッチしたときに、オートフォーカスだけを行うかオートフォーカス後に撮影するかを選択
記録設定	記録形式／JPEG記録サイズを変更
構図微調整	構図微調整のオン／オフを選択
一般設定	通信設定／言語設定を変更

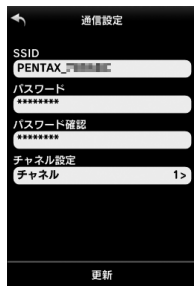
2 通信設定や言語表示を変更するときは「一般設定」をタップ

3 設定する項目をタップ

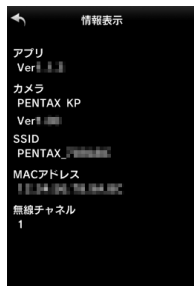


通信設定

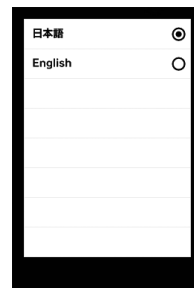
パスワードと無線チャンネルの変更が可能



情報表示



言語設定



4 設定が終わったら ← をタップ

5

共有

カメラの設定

ボタン／ダイヤルをカスタマイズする

カメラアイコン 5 / 動画アイコン 2

ボタンの動作を設定する

Fx1 / **Fx2** / **Fx3** / **AF/AE-L** の動作を設定します。

AF/AE-L モードでは、**AF/AE-L** の設定ができます。

- 1 **カメラアイコン 5** / **動画アイコン 2** メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、**▶**を押す
「ボタンカスタマイズ」画面が表示

- 2 ボタンを選択、**▶**を押す
各ボタンの設定画面が表示



3 ▶を押し、▲▼で割り当てる機能を選択

	設定	機能	参照
Fx1ボタン Fx2ボタン Fx3ボタン	露出補正	露出を補正 (Fx3 初期設定)	p.56
	ISO感度	ISO感度を設定	p.55
	プレビュー	撮影前に構図・露出・ピンツ等を確認	p.104
	AEロック	露出を記録	p.51
	測距点移動	測距点移動モードとダイレクトキーモードを切り替え	p.61、p.63
	ワンタッチRAW+	一時的に記録形式を変更 (Fx1 初期設定)	p.103
	電子水準器	ファインダー内／ライブビューの電子水準器表示のオン／オフ切り替え (Fx2 初期設定)	p.20
	Wi-Fi *1	Wi-Fi™ のオン／オフ切り替え	p.94
AF/AE-Lボタン	赤色画面表示 *1	赤色画面表示のオン／オフ切り替え	p.122
	キーロック	キーロックのオン／オフ切り替え	p.51
	AF作動1	AF/AE-L でオートフォーカスが作動	p.59
	AF作動2	AF/AE-L でオートフォーカスが作動。 SHUTTER 半押し無効	
	AFキャンセル	AF/AE-L を押している間、 SHUTTER 半押し無効	
	AEロック	露出を記録	p.51

*1 「Fx1ボタン」選択時のみ

4 OK を押す

5 MENU を押す

手順2の画面に戻る
手順2～5を繰り返す

6 MENU を2回押す

メモ

- ガイド表示がオン (p.26) のときに、ボタンに割り当てられている機能が確認できます。
また Fx1 / Fx2 / Fx3 に以下の機能を割り当てたときは、ボタン操作後に機能名と設定値が表示されます。
 - ワンタッチRAW+
 - 電子水準器
 - Wi-Fi
 - 赤色画面表示
- Fx1 / Fx2 / Fx3 のすべてに同じ機能を設定することもできます。
- 測距点移動 / ワンタッチRAW+ / 電子水準器 / Wi-Fi / 赤色画面表示を割り当てたときは、ボタンを操作したときに電子音が鳴ります。電子音を鳴らしたくない場合は、**1**メニュー「電子音」で変更できます。(p.32)
- Fx1 / Fx2 / Fx3 のいずれかに「キーロック」を割り当ててキーロックをオンにした状態で、ボタンに他の機能を割り当てると、その時点でキーロックは解除されます。



ワンタッチRAW+を設定する

撮影時に、ボタンを押して一時的に記録形式を変更することができます。初期設定では、**Fx1**に「ワンタッチRAW+」が割り当てられています

1 「ボタンの動作を設定する」(p.102) の手順3で Fx1 ボタン / Fx2 ボタン / Fx3 ボタンのいずれかに「ワンタッチRAW+」を設定

2 「撮影毎に解除」の ☒ / ☐ を切り替え

☒	1回撮影するたびに 2 メニュー「記録設定」の「記録形式」の設定に戻る
☐	以下の操作を行うまで設定を継続 - 再度 Fx1 / Fx2 / Fx3 を押す 2 / MENU / INFO / モードダイヤル / 電源レバーのいずれかを操作

3 ボタンを押したときの記録形式を選択

左が「記録形式」の設定、右がボタンを押したときの記録形式



4 MENU を3回押す 撮影待機状態に戻る

メモ

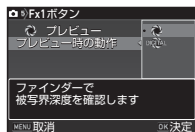
- 撮影時にボタンを長押しすると、電子音が鳴ってワンタッチRAW+が有効になります。

プレビューを設定する

ボタンを押して、撮影前にプレビューが表示できます。

1 「ボタンの動作を設定する」(p.102)の手順3でFx1ボタン／Fx2ボタン／Fx3ボタンのいずれかに「プレビュー」を設定

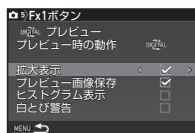
2 「プレビュー時の動作」でプレビューの種類を選択、**OK**を押す



	光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認
	デジタルプレビュー	構図・露出・ピントなどを画像モニターで確認 拡大表示／プレビュー画像保存／ヒストグラム表示／白とび警告が可能

を選択したときは、手順4へ

3 ▼を押し、表示の／を
設定



4 **MENU**を3回押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- 以下のときは、設定にかかわらず光学プレビューで動作します。
 - ドライブモードのミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影
 - 📷モード

注意

- 一部の機能は、デジタルプレビューに適用されません。

スマートファクションの動作を設定する

機能ダイヤルC1／C2／C3に機能を登録し、設定ダイヤルで機能の設定値を変更することができます。(p.21)

1 カメラメニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、▶を押す

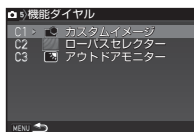
「ボタンカスタマイズ」画面が表示

2 機能を回して「機能ダイヤル」を選択、▶を押す

「機能ダイヤル」画面が表示



3 C1／C2／C3を選択、▶を押す



4 ▲▼で登録する機能を選択

設定	機能	参照
ISO感度	ISO感度を変更	p.54
露出補正	露出補正値を変更	p.56
ブラケット幅	ブラケット撮影のブラケット幅を変更	p.66
カスタムイメージ	カスタムイメージの画像仕上を変更 (C1初期設定)	p.74
AFモード	AFモードを変更	p.60、p.62
AFエリア	AFエリアを変更	p.60、p.62
フォーカスアシスト	フォーカスアシストを変更	p.61
プログラムライン	プログラムラインを変更	p.50
シャッターモード	シャッターモードを変更	p.52
記録サイズ	静止画／動画の記録サイズを変更	p.48
ローパスセクター	ローパスセクターのタイプを変更 (C2初期設定)	p.79
グリッド表示	ライブビュー撮影／再生時のグリッドの種類を変更	p.46、p.47
情報表示切替	撮影情報表示選択／再生情報表示選択	p.16、p.17
画像表示拡大	ライブビュー撮影／再生時に拡大表示	p.46、p.47
アウトドアモニター	画像モニターの明るさを変更 (C3初期設定)	p.108

5 OKを押す

「機能ダイヤル」画面に戻る

手順3～5を繰り返す

6 MENUを3回押す

●メモ

- 機能ダイヤルまたは設定ダイヤルを操作したときに、割り当てられている機能がステータススクリーン／ライブビューで確認できます。



電子ダイヤルの動作を設定する

☂／☂／○の動作を露出モード別に設定できます。
Bモード以外の露出モードが設定できます。

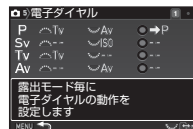
- 1 5／2メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、を押す

「ボタンカスタマイズ」画面が表示

- 2 を回して「電子ダイヤル」を選択、を押す

「電子ダイヤル」画面が表示

- 3 露出モードを選択、を押す
選択した露出モードの画面が表示



- 4 を押し、、で☂／☂／○の動作の組み合わせを選択



Tv	シャッター速度変更
Av	絞り値変更
ISO	ISO感度変更
	露出補正
→P	Pに戻る
PSHIFT	プログラムシフト
PLINE	プログラムライン
--	操作無効

- 5 **OK**を押す

- 6** **MENU** を押す
「電子ダイヤル」画面に戻る
手順3～6を繰り返す

7 **MENU** を3回押す

メモ

- ・手順3で「回転方向設定」を選択すると、 /  を操作したときの値の変化を逆方向に変更することができます。
- ・ガイド表示 (p.45) が表示されているときに、ダイヤルに割り当てられている機能が確認できます。

画像モニターとランプを設定する



画像モニターの色味を調整する

画像モニターの明るさ／彩度／色調整の設定ができます。

- 1** **2**メニュー「LCD設定」を選択、▶を押す
「LCD設定」画面が表示

- 2** 明るさ／彩度／色調整を設定



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|----|------|
| ▲▼ | 項目選択 |
| ◀▶ | 値調整 |
| ○ | リセット |

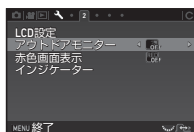
- 3** **OK** を押す
2メニューに戻る

注意

- ・「アウトドアモニター」を設定しているときは、「LCD 設定」は変更できません。

画像モニターの明るさを調整する

屋外などでの撮影で画像モニターの表示が見にくい場合は、**2**メニュー「アウトドアモニター」で明るさを調節することができます。



メモ

- 機能ダイヤルに「アウトドアモニター」を割り当てると、スマートファンクションで変更ができます。(p.21、p.105) 初期設定では、C3に割り当てられています。

ランプの点灯を設定する

各ランプを点灯させるかどうかを**2**メニュー「インジケーター」で設定します。



よく使う設定値を登録する



モードダイヤル**U1**～**U4**には、初期設定でHDR LANDSCAPE／MACRO／ASTROPHOTO／MANUAL LENSの設定が登録されています。

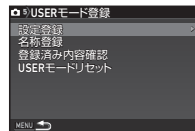
U1～**U5**には、これ以外にカメラの設定をまとめて登録して利用することもできます。

以下の設定が登録できます。

露出モード	ドライブモード
ISO感度	ホワイトバランス
露出補正	5 メニュー／ C メニュー
フラッシュモード	の設定（一部を除く）

設定を登録する

- 登録する露出モードと機能をすべて設定する
- 5**メニュー「USERモード登録」を選択、**▶**を押す
「USERモード登録」画面が表示
- 「設定登録」で**▶**を押す
「設定登録」画面が表示



- USER1～USER5を選択、**▶**を押す
- 「登録」を選択、**OK**を押す
- MENU**を押す
手順3の画面に戻る

注意

- モードダイヤルが**AUTO**になっているとき、または**5**モードのときは、「USERモード登録」は選択できません。

●メモ

- 登録した設定内容は、手順 3 の画面で「登録済み内容確認」を選択すると確認できます。
- 設定を初期設定に戻すときは、手順3の画面で「USER モードリセット」を選択します。

名前を登録する

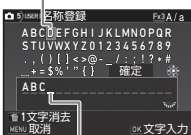
登録した設定に名前を付けることができます。

1 「設定を登録する」(p.108) の手順3で「名称登録」を選択、▶を押す 「名称登録」画面が表示

2 USER1～USER5を選択、▶を押す 文字を入力する画面が表示

3 文字を入力 半角18文字以内で英数字・記号 を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
☺	文字入力カーソルを移動
Fx3	大文字／小文字切り替え
OK	文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力
☐	文字入力カーソル位置の文字を消去

4 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OKを押す 「名称登録」画面に戻る

USERモードを利用する

1 モードダイヤルをU1～U5に合わせる

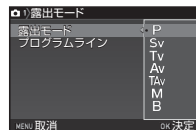
ガイド表示にUSERモードの名称が表示

▲▼で登録内容の確認が可能



2 必要に応じて設定を変更

露出モードを変更する場合は
1メニュー「露出モード」で変更



●メモ

- 手順2で変更した設定は、USERモードに登録されません。電源を切ると登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は、登録をやり直してください。

カメラに保存する設定を選択する



本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する(☑)か初期設定に戻す(□)かを選択できます。

📷5メニュー「モードメモリ」で設定します。

ISO感度	デジタルフィルター
露出補正	HDR撮影
フラッシュモード	Real Resolution
フラッシュ光量補正	構図微調整範囲
ドライブモード	撮影情報表示
ホワイトバランス	再生情報表示
カスタムイメージ	アウトドアモニター
明瞭コントロール	赤色画面表示
肌色補正	キーロック

📌メモ

- 📷5メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

📌注意

- プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

- 再生モードパレットで「プロテクト」を選択
処理単位を選択画面が表示

- 画像選択／フォルダー選択
を選択、OKを押す



- 画像／フォルダーを選択
「フォルダー選択」は、手順5へ
📁 画像の選択 (p.82)

- INFOを押す
確認画面が表示

- 「プロテクト」を選択、OKを押す

📌メモ

- メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、📷1メニュー「全画像プロテクト」を選択します。

フォルダー／ファイルを設定する



フォルダー新規作成

4メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

注意

- 複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

メモ

- 以下の場合は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。
 - ドライブモード「インターバル撮影」(p.70)
 - 再生モードパレット「RAW 展開」の複数画像選択／フォルダー選択 (p.90)

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダー名の文字列を変更することができます。

1 4メニュー「フォルダー名」を選択、▶を押す
「フォルダー名」画面が表示

2 ▶を押し、日付／任意を選択



日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が4桁で付く 月日は4メニュー「日時設定」の「表示スタイル」に準じる 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
任意	フォルダー番号の後ろに任意の5文字が付く(初期設定:PENTX) 例) 101PENTX

「日付」を選択した場合、または文字列を変更しない場合は、手順6へ

3 ▼を押してから▶を押す
文字を入力する画面が表示

4 文字を入力
半角5文字で英数字を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作



文字選択カーソルを移動



文字入力カーソルを移動



文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力



リセット

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OKを押す

6 MENUを2回押す

6

設定

●メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。
- 1つのフォルダーには、最大500枚の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、ドライブモードの「ブラケット撮影」では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。

●注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダーが作成済みのときに、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイル名

ファイル名の先頭には、📷2メニュー「記録設定」の「色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGP****.JPG
AdobeRGB	_IMG****.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

- 1 📷4メニュー「ファイル名」を選択、▶を押す
「ファイル名」画面が表示

- 2 📷/📷を選択、▶を押す
文字を入力する画面が表示



- 3 文字を入力
半角4文字以内で英数字を入力
🔑 文字入力 (p.111)

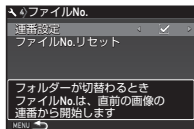
- 4 [MENU] を2回押す

●メモ

- 色空間が「AdobeRGB」の場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になります。
- 動画は色空間の設定にかかわらず「IMGP****.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後に0001～9999の連番が付きます。フォルダーが新しくなったときにファイル番号を継続するかどうかを、**4**メニュー「ファイルNo.」の「連番設定」で設定できます。



☒	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継続
☐	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号を0001から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

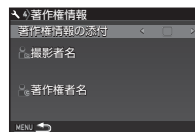
著作権情報を設定する



画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

- 4**メニュー「著作権情報」を選択、**▶**を押す
「著作権情報」画面が表示

- ◀▶**で「著作権情報の添付」を指定



☐	著作権情報を記録しない
☒	著作権情報を記録する

- 3** 撮影者名／著作権者名を選択、**▶**を押す
文字を入力する画面が表示

- 4** 文字を入力
半角32文字以内で英数字・記号を入力
 文字入力 (p.109)

- 5** **MENU** を2回押す

メモ

- Exif情報は、再生モードの「詳細情報表示」(p.17)や付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

目的地の日時を表示する

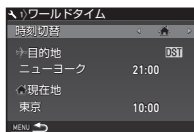


「初期設定」(p.42)で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録できます。

1 1メニュー「ワールドタイム」を選択 「ワールドタイム」画面が表示

2 「時刻切替」で表示する時刻 を選択 ⬇ (現在地) / ➡ (目的地)



3 「➡目的地」を選択、▶を押す 「➡目的地」画面が表示

4 ◀▶で都市を選択 ☀で地図表示切り替え



5 「夏時間」を選択、◀▶で☐/☑を設定

6 OKを押す 手順2の画面に戻る

7 MENUを2回押す

メモ

- 現在地／目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.131)を参照してください。
- 手順3で「⬇ 現在地」を選択すると、現在地の都市／夏時間を変更できます。
- 「時刻切替」を➡に設定すると、コントロールパネルに➡と目的地の日時が表示されます。

特殊機能の組み合わせ制限

△：制限付きで組み合わせ可 ×：組み合わせ不可

		電子シャッター	明瞭コントロール／ 肌色補正／ デジタル フィルター	HDR撮影	Real Resolution	アストロ トレーサー	ローパス セクター	ディストーション補正 ／回折補正	バッファ RAW保存
	フラッシュ	×		×	×				
ドライ ブモ ード	連続撮影			×	×	×	△ ^{*3}		×
	ブラケット撮影／ 被写界深度ブラケット／ モーションブラケット			×	×	×	△ ^{*3}		△ ^{*4}
	ミラーアップ撮影			×			△ ^{*3}		
	多重露出		×	×	×	×	△ ^{*3}	×	
	インターバル撮影	×	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	△ ^{*2}	△ ^{*3}		△ ^{*4}
	インターバル合成	×	×	×	×	×	△ ^{*3}	×	△ ^{*4}
	インターバル動画	×	△ ^{*1}	△ ^{*1}	×	△ ^{*2}	△ ^{*3}		×
	スターストリーム	×	×	×	×	×	△ ^{*3}	×	×
	HDR撮影	×	×		×	×	×		
	Real Resolution		×	×		×	×		
	ローパスセクター	×		×	×	△ ^{*3}			

*1 「撮影間隔」の最短値に制限あり

*2 タイマー露光設定時のみ

*3 ブラケット不可

*4 最終コマのみ保存可能

各種レンズ使用時の機能

DA/DA L/D FA/FA J/FAレンズ、または絞りA位置があるレンズを絞りA位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。

使用するレンズによって、以下の制限があります。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

機能	DA DA L D FA	FA J FA ⁶	F ⁶	A	M P
	[KAF] [KAF2] [KAF3] [KAF4]	[KAF] [KAF2]	[KAF]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター 1.7×使用) ^{*1}	○	○	○	— △	— △
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケーター 表示の利用) ^{*2} (マウント面の利用)	○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス	△ ^{*4}	✕	✕	✕	✕
測距点「オート」	○	○	○	△ ^{*8}	✕
測光方式「分割」	○	○	○	○	✕
P/Sv/Tv/Av/TAv モード	○	○	○	○	△ ^{*9}
Mモード	○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ 撮影 ^{*3}	○	○	○	○	✕
レンズ焦点距離の自動取得	○	○	○	✕	✕
レンズ補正	△ ^{*5}	△ ^{*7}	✕	✕	✕

^{*1} レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズでA位置でのみ使用可能

^{*2} レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能

^{*3} 内蔵フラッシュまたはAF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ II/AF201FC/AF200FG/AF160FC使用時

^{*4} 対応レンズのみ可能

^{*5} DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正/周辺光量補正無効

- ^{*6} FA SOFT 28mm F2.8/FA SOFT 85mm F2.8/F SOFT 85mm F2.8では、C4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
- ^{*7} 以下のFAレンズでレンズ補正可能(絞りA位置以外では、ディストーション補正/倍率色収差補正のみ可)
FA★24mm F2 AL [IF]/FA 28mm F2.8 AL/FA 31mm F1.8 Limited/FA 35mm F2 AL/FA 43mm F1.9 Limited/FA 50mm F1.4/FA 77mm F1.8 Limited/FA★85mm F1.4 [IF]/FA★200mm F2.8 ED [IF]/FA★MACRO 200mm F4 ED/FA★300mm F2.8 ED [IF]/FA★300mm F4.5 ED [IF]/FA★400mm F5.6 ED [IF]/FA★600mm F4 ED [IF]/FA★28-70mm F2.8 ED [IF]/FA★80-200mm F2.8 ED [IF]/FA★250-600mm F5.6 ED [IF]
- ^{*8} 「スポット」固定
- ^{*9} 絞りは開放のAv(絞りリング無効)

●注意

- 絞りA位置があるレンズを絞りA位置以外で使用したり、A位置のないレンズや接写リングなどのアクセサリを取り付けた場合、C4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を設定しない限り、カメラは作動しません。「絞りリングの使用を許可する」(p.118)を参照してください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。

マウント名称について

DA/D FAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKAF2マウント(AFカブラーのないレンズはKAF3マウント)です。

KAF3マウントで絞りレバーのないもの(電磁絞り方式)のレンズは、KAF4マウントです。

FAの単焦点レンズ(ズームでないレンズ)と、モーターを搭載していないDA/DA Lレンズ、D FA/FA J/FレンズのマウントはKAFマウントです。(本機はパワーズーム非対応)

詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

(2016年12月現在)

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
DA FISH-EYE 10-17mm F3.5-4.5 ED [IF]／ DA 12-24mm F4 ED AL／ DA 14mm F2.8 ED [IF]／ DA 15mm F4 ED AL／ D FA 15-30mm F2.8 ED SDM WR／ FA★300mm F2.8 ED [IF]／ DA 560mm F5.6 ED AW／ FA★600mm F4 ED [IF]／ FA★250-600mm F5.6 ED [IF]	ケラレが発生するので内蔵フラッシュ使用不可
F FISH-EYE 17-28mm F3.5-4.5	焦点距離が20mm未満ではケラレが発生することがある
DA 16-45mm F4 ED AL	焦点距離が28mm未満のとき、または焦点距離が28mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生することがある
DA★16-50mm F2.8 ED AL [IF] SDM	焦点距離が20mm以下のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1.5m未満のときはケラレが発生
DA 16-85mm F3.5-5.6 ED DC WR	焦点距離が24mm以下で撮影距離が0.8m以下のときはケラレが発生
DA 17-70mm F4 AL [IF] SDM	焦点距離が24mm未満のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生
DA 18-250mm F3.5-6.3 ED AL [IF]	焦点距離が35mm未満ではケラレが発生
DA 18-270mm F3.5-6.3 ED SDM	焦点距離が24mm未満ではケラレが発生することがある

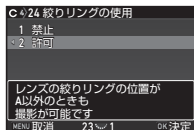
レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
D FA 24-70mm F2.8 ED SDM WR	焦点距離が36mm未満ではケラレが発生することがある
FA★28-70mm F2.8 AL	焦点距離が28mmで撮影距離が1m未満のときは、ケラレが発生することがある
FA SOFT 28mm F2.8／ FA SOFT 85mm F2.8	内蔵フラッシュは常にフル発光

絞りリングの使用を許可する

C4

D FA/FA/F/Aレンズで絞りを**A**位置以外にしたり、**A**位置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を選択します。



この場合、次の制約があります。

使用レンズ	制約
D FA/FA/F/A/M(レンズ単体、オート接写リングKなどの自動絞り機能のアクセサリーと組み合わせた場合)	絞りは開放固定 ^{*1} レンズの開放絞りに連動してシャッター速度は変化するが、露出の誤差が生じることがある
D FA/FA/F/A/M/S(接写リングKなどの絞込み機能のアクセサリーと組み合わせた場合) レフレックスレンズなどの手動絞りのレンズ(レンズ単体)	設定した絞り値で撮影されるが、露出の誤差が生じることがある
FA SOFT 28mm/ FA SOFT 85mm/ F SOFT 85mm (レンズ単体)	手動絞りの範囲のみ、設定した絞り値で撮影 ^{*1}

^{*1} **M**/**B**モードでは指定絞りまで絞られる

メモ

- 絞りを**A**位置以外にセットした場合、**M**/**B**モード以外はモードダイヤルの位置にかかわらず、**Av**モードで動作します。
- ステータススクリーン/ファインダー内/ライブビューの絞り値は「F-」と表示されます。

絞り**A**位置以外で露出を測る方法

絞りを**A**位置以外にしたときは、以下の方法で適正露出が得られます。

- モードダイヤルを**M**に合わせる
- レンズの絞りリングを設定したい絞り値に合わせる
- を押す
シャッター速度が適正値に設定
- 適正露出が得られないときは、ISO感度を調整

マニュアルフォーカスレンズを使用すると、ピントが合ったときに自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」ができます。

- 1 本機にマニュアルフォーカスレンズを取り付ける
- 2 C4メニュー「22 キャッチインフォーカス」を「オン」に設定する
- 3 AF/MFレバーをAF、「AFモード」をAF.Sに設定する
- 4 カメラを設置する
- 5 被写体が通りそうな位置にピントを合わせ、**SHUTTER** 全押し
被写体がピントを合わせた位置に入ると、自動的に撮影

Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して動作します。そのため、焦点距離が自動取得できないレンズを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

- 1 C4メニュー「24 絞りリングの使用」を「許可」に設定する
- 2 カメラの電源を切る
- 3 カメラにレンズを装着し、電源を入れる
「焦点距離入力」画面が表示
- 4 ▲▼で焦点距離を選択
◀を押すと一覧から選択
ズームレンズ使用時は、ズームの
焦点距離を設定



- 5 **OK**を押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- レンズ焦点距離は、**4**メニュー「焦点距離入力」で変更できます。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などのさまざまなフラッシュ撮影ができます。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

対応フラッシュ カメラの機能	内蔵 フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF201FG AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	○	○	○
フラッシュ自動発光 ^{*1}	○	○	○
同調速度への自動切り替え	○	○	○
P/Tvモードで絞り値自動 セット	○	○	○
P-TTLオートフラッシュ 撮影	△ ^{*2}	△ ^{*2}	△ ^{*2}
スローシンクロ撮影	○	○	○
フラッシュ光量補正	○	○	○
外付けフラッシュのAF補助 光使用	✕	△ ^{*3}	✕
後幕シンクロ撮影 ^{*4}	○	○	△ ^{*5}
光量比制御モード	△ ^{*6}	○	△ ^{*7}
スレープ機能	✕	○	✕
ハイスピードシンクロ撮影	✕	○	✕
ワイヤレス撮影	△ ^{*7}	△ ^{*7}	✕

^{*1} カメラの撮影モードは、**AUTO**モードのみ

^{*2} DA/DA L/D FA/FA J/FA F/Aレンズを使用した場合のみ可能（絞りA位置があるレンズは、A位置で使用）

^{*3} AF540FGZ/AF360FGZのAF補助投光は不可

^{*4} シャッター速度は1/90秒以下

^{*5} AF201FGは可能

^{*6} AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIと組み合わせる場合のみ可能（光量比制御に対応した外付けフラッシュが2台必要）

^{*7} AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIと組み合わせる場合のみ可能

●注意

- 外付けフラッシュを取り付けた状態で、カメラの **+** を押さないでください。内蔵フラッシュが外付けフラッシュに接続します。内蔵フラッシュと外付けフラッシュを同時に使用する場合は、延長コードを利用して接続してください。
- 極性が逆（ホットシュー中央の接点がマイナス）のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリーを組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでください。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

●メモ

- AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIは、1/180秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発光して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができます。カメラの撮影モードは、**Tv** / **TAv** / **M** に設定します。
- 外付けフラッシュAF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIの組み合わせ、または内蔵フラッシュとの組み合わせで、フラッシュ同士をコードで接続せずにP-TTL撮影を行う「ワイヤレスモード」（コントローラー発光）が利用できます。その場合のカメラのチャンネルは、外付けフラッシュで設定します。設定したチャンネルは、ステータススクリーン/ファインダー内/ライブビューで確認できます。（p.14、p.19）

GPSユニットを利用する

本機に別売のGPSユニットO-GPS1を装着すると、画像の撮影情報にGPS情報が記録されるほかに、以下の機能が利用できます。

電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き（方位）、協定世界時、撮影モード、露出値を表示 「撮影情報表示選択」(p.16) で選択 
アストロトレサー	天体を追尾して撮影 カメラに内蔵されている Shake Reduction ユニットの天体の動きに合わせて動かすことによって、長時間露光でも天体を点状に撮影可能 (p.121)
自動時刻修正	GPS衛星から取得した情報を利用して、カメラの日時設定を自動的に補正 3メニュー「GPS/電子コンパス」で設定

●メモ

- GPSユニットの取り付け方や機能の詳細は、GPSユニットの使用説明書を参照してください。

●注意

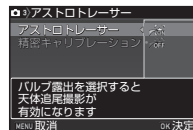
- 本機では「直線ナビ」は使用できません。

天体を撮影する

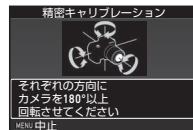
アストロトレサーを設定する



- 1 GPSユニットを装着し、電源を入れる
- 2 3メニュー「アストロトレサー」を選択、▶を押す
「アストロトレサー」画面が表示
- 3 「アストロトレサー」で▶を押す
- 4 オンを選択、OKを押す



- 5 「精密キャリブレーション」で▶を押す
「精密キャリブレーション」画面が表示
- 6 画面の指示に従って、カメラを回転させる
終了すると、処理結果が表示



- 7 OKを押す
手順4の画面に戻る
「正しく処理できませんでした」と表示されたときは、カメラを向ける方角を変えて再度実行
- 8 MENUを2回押す
撮影待機状態に戻る

●注意

- キャリブレーションを行うときは、ストラップを手首に巻くなどしてカメラを落とさないように注意してください。
- バッテリーを入れ直したときは、キャリブレーションをやり直してください。
- 撮影場所によって磁場環境が異なるため、アストロトレーサー撮影を行うときは、撮影場所で「精密キャリブレーション」を実行してください。
- キャリブレーション実行後に、レンズ交換や画像モニターの角度を変更すると、磁場環境に影響することがあります。その場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

アストロトレーサーで撮影する

1 モードダイヤルをB、フォーカスモードをMFに設定する

2 撮影条件を設定する



ボタン・ダイヤル操作

○	タイマー露光オン／オフ切り替え
	(タイマー露光オン) 露光時間10"~5'00"変更
	絞り値変更
	精密キャリブレーション実行

3 ピントを合わせ、SHUTTER全押し
撮影開始

4 もう一度SHUTTER全押し

撮影終了
タイマー露光を設定した場合は、設定した時間が経過すると自動的に撮影が終了

●注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.115)

画像モニターがまぶしいとき

暗い場所で長時間撮影するときは、メニュー「赤色画面表示」をオンに設定すると、画像モニターを赤く表示することができます。また、に「赤色画面表示」を割り当てると、ボタンの操作でオン／オフを切り替えることができます。(p.102)

困ったときは

●メモ

- ・ 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきれない	内蔵フラッシュが充電中	充電が完了するまで待ってください。
	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
	レンズの絞りがA位置以外になっている	絞りをA位置にするか、C4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を選択してください。(p.118)
ピントが合わない	AFモードがAF.Sでピントが合っていない	フォーカスモードをMFにしてピントを合わせて撮影してください。
	オートフォーカスが苦手なものを被写体している	コントラストが低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、AFが苦手なものです。撮りたいものと同じ距離にある別のものにフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、MFを使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。

現象	原因	対処方法
フォーカスロックできない	ライブビューのAFエリアが「追尾」になっている	AFエリアを「追尾」以外に設定してください。(p.62)
内蔵フラッシュが発光しない	フラッシュモードが「自動発光」になっている	フラッシュモードが「自動発光」になっているときは、被写体が明るいと発光しません。フラッシュモードを変更してください。(p.57)
パソコンと接続しても認識されない	転送モードが「PTP」になっている	3メニュー「USB 接続」を「MSC」に設定してください。(p.92)
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	5メニュー「ダストリムーバル」を実行してください。電源ON/OFF時に毎回作動させることもできます。それでも解消しない場合は、「センサーのクリーニング」(p.124)を参照してください。
撮影画像の表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	5メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

センサーのクリーニング

5

ミラーをアップし、ブロアーを使ってクリーニングします。

- 1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す
- 2 カメラの電源を入れる
- 3  5メニュー「センサークリーニング」を選択、▶を押す
「センサークリーニング」画面が表示
- 4 「ミラーアップ」を選択、**OK**を押す
ミラーがアップ
- 5 ブロアーを使用してクリーニングする
- 6 電源を切る
ミラーが戻る

7 付録

●注意

- ・スプレー式またはブラシ付きのブロアーは使用しないでください。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ・ブロアー先端をレンズマウント面より中に入れないでください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。また、ゴミがカメラの外に落ちるよう、レンズマウント面を下に向けてブロアーを使用してください。
- ・バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためクリーニングを行えません」と画像モニターに表示されます。容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。クリーニングの途中でバッテリー容量が少なくなると警告音が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してください。

●メモ

- ・CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。
- ・クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	メモリーカードの容量いっぱいになり画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使ったメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。(p.136)
このカードは利用できません	本機が対応していないメモリーカードがセットされています。
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを解除してください。(p.110)
電池容量が足りないためピクセルマッピングを行えません	ピクセルマッピング／センサークリーニング／アップデート実行時にバッテリー容量が足りない場合に 표시됩니다。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量が足りないためクリーニングを行えません	
電池容量が足りないためアップデートを行えません	
ファイルが壊れているためアップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため実行できません。アップデートファイルを再度ダウンロードしてください。

エラーメッセージ	内容
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像を保存できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
正しく処理できませんでした	処理が失敗しました。もう一度やり直してください。
これ以上選択できません	以下の機能で、上限枚数以上を選択しようとしています。 - 選択消去 - RAW 展開 - プロテクト
処理できる画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、またはRAW 展開できる画像がありません。
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサイズ／トリミング／デジタルフィルター／動画編集／RAW 展開／マニュアル WB 登録を実行した場合、または最小サイズの画像に対してリサイズ／トリミングを実行した場合に表示されます。
このモードでは設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、設定できない機能を設定しようとしています。
カメラが高温になりました電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
撮影できる状態までレンズのズームリングをまわしてください	洗眼式レンズを装着しているときに、レンズが収納されているため撮影ができません。(p.46)

主な仕様

型式

型式	P-TTLフラッシュ内蔵 TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2 マウント (AF フォーカス・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF4、KAF3、KAF2 (パワーズーム非対応)、KAF、KA マウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS、サイズ：23.5×15.6mm
有効画素数	約2432万画素
総画素数	約2496万画素
ダストリムーバー	超音波振動による撮像素子クリーニング機能 (DR II)
感度 (標準出力感度)	100～819200 (1 EV ステップ、1/2 EV ステップまたは1/3 EV ステップ)
感度AUTO設定	調整範囲 (上限)、調整範囲 (下限) 低速限界の指定方法 (AUTO、Tv) 低速限界の設定値 (AUTOは低速側／標準／高速側に変更可能、Tvは1/6000～30秒に変更可能)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式 (SR II : Shake Reduction II)
ローパスセレクト	SRユニットを用いたモアレ低減機能、オフ／Type1／Type2／ブラケット (2枚)／ブラケット (3枚)

記録形式

画像ファイル形式	RAW (PEF / DNG)、JPEG (Exif 2.3 準拠)、DCF 2.0 準拠
記録サイズ (画素数)	JPEG : [L] (24M : 6016×4000)、[M] (14M : 4608×3072)、[S] (6M : 3072×2048)、[XS] (2M : 1920×1280) RAW : (24M : 6016×4000)
画質	RAW (14bit) : PEF、DNG JPEG : ★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー)、RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB
記録媒体	SD、SDHC、SDXC メモリーカード (SDHC、SDXC メモリーカードはUHS-I規格に対応)
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付 (100_1018、101_1019...)、任意 (初期値はPENTAX)

記録ファイル	ファイル名設定可能 (初期値はIMGP****) ファイルNo. 設定：連番設定、リセット
--------	--

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.95× (50mm F1.4・∞)
アイレリーフ長	約20.5mm (見口枠より)、約22.3mm (レンズ中心より)
視度調節機能	約-2.5～+1.5m ⁻¹
フォーカシングスクリーン	ナチュラルブライトマットIII、交換式

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
オートフォーカス	方式：コントラスト検出式 AFエリア：顔検出、追尾、多点オート、セレクト、スポット フォーカスアシスト：エッジ強調／エッジ抽出／オフ
表示	視野率約100%、拡大表示 (最大16倍まで)、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示、正方 (小)、正方 (大) 線種：黒／白選択可能)、ヒストグラム表示、白とび警告、構図微調整

画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ、エアギャップレス構造、強化ガラス製カバー、チルト式
イメージサイズ	3.0型 (アスペクト比3 : 2)
ドット数	約92.1万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整
アウトドアモニター	±2ステップ
赤色画面表示	オン／オフ

ホワイトバランス

方式	撮像素子によるTTL方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、白陰、曇天、蛍光灯 (D : 昼光色、N : 昼白色、W : 白色、L : 電球色)、白熱灯、CTE、マニュアル (3種類登録可)、色温度設定 (3種類登録可)、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX 11、27点測距（中央25点はクロスタイプ）
輝度範囲	EV -3～18（ISO 100、常温）
AFモード	シングルAF（AFS）、コンティニュアスAF（AF.C）、自動選択AF（AF.A）
AFエリア	27点オート、ゾーンセレクト、セレクト、セレクトエリア拡大（S、M、L）、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	8.6万画素RGBセンサーによるTTL開放測光、分割測光/中央重点/スポット
露出範囲	EV -3～20（ISO 100・50mm F1.4）
露出モード	シーンアナライズオート、プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マニュアル、パルプ、USER1、USER2、USER3、USER4、USER5
露出補正	±5 EV（1/2 EVステップ、1/3 EVステップ選択可能）
AEロック	ボタンカスタマイズにてAF/AF-L / Q1 / Q2 / Q3 ボタンに割り当て可能

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカルブレンシャッター、電子シャッターの選択式
シャッタースピード	〔メカシャッター〕 オート：1/6000秒～30秒、マニュアル：1/6000秒～30秒（1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ）、パルプ（タイマー露光設定可能：10秒～20分） 〔電子シャッター〕 オート：1/24000秒～30秒、マニュアル：1/24000秒～30秒（1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ）

ドライブ

ドライブモード	1コマ、連続（H、M、L）、セルフタイマー（12秒後、2秒後、連続）、ブラケット（2コマ/3コマ/5コマ）、被写界深度ブラケット（3枚）、モーションブラケット（3枚）、ミラーアップ、多重露出、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリーム • ブラケット、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スターストリームはセルフタイマーとの併用可能 • 被写界深度ブラケットは Av モードで選択可能、セルフタイマーとの併用可能 • モーションブラケットは Tv モードで選択可能、セルフタイマーとの併用可能 • 多重露出は連続/セルフタイマーとの併用可能
連続撮影	最高約7.0コマ/秒、JPEG（L）・★★★・連続H）：28コマまで、RAW：8コマまで、RAW+：7コマまで 最高約3.0コマ/秒、JPEG（L）・★★★・連続M）：70コマまで、RAW：15コマまで、RAW+：10コマまで 最高約0.8コマ/秒、JPEG（L）・★★★・連続L）：100コマまで、RAW：100コマまで、RAW+：25コマまで • 連続撮影可能コマ数はISO 100のとき • 電子シャッター使用時や、高感度撮影時は連続撮影速度が遅くなります。
多重露出	合成方法：加算/平均/比較明 撮影回数：2～2000回
インターバル	〔インターバル撮影〕 撮影間隔：2秒～24時間/撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：2～2000回、開始トリガー：即時/セルフタイマー/時刻指定 〔インターバル合成〕 撮影間隔：2秒～24時間/撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：2～2000回、開始トリガー：即時/セルフタイマー/時刻指定、合成方法：加算/平均/比較明、途中経過保存：オン/オフ 〔インターバル動画〕 記録サイズ：4K / FullHD / HD、ファイル形式：Motion JPEG（AVI）、撮影間隔：2秒～24時間/撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：8～2000回（記録サイズ4K選択時は8～500回）、開始トリガー：即時/セルフタイマー/時刻指定 〔スターストリーム〕 記録サイズ：4K / FullHD / HD、ファイル形式：Motion JPEG（AVI）、撮影待機時間：最短・1秒～24時間、撮影回数：8～2000回（記録サイズ4K選択時は8～500回）、開始トリガー：即時/セルフタイマー/時刻指定、フェードアウト：オフ/弱/中/強

フラッシュ

内蔵フラッシュ	ポップアップ式P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約6.0 (ISO 100・m)、28mmレンズの画角(35ミリ判換算)をカバー
発光方式	自動発光 (AUTO モード時)、赤目軽減自動発光 (AUTO モード時)、強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ、後幕シンクロ、マニュアル発光 (FULL ~ 1/128)、ワイヤレス発光 (コントローラー発光可能)
シンクロ同調速度	1/180秒
フラッシュ光量補正	-2.0 ~ +1.0 EV
外付けフラッシュ	対応、P-TTL、先幕シンクロ、後幕シンクロ、光量比制御、ハイスピードシンクロ、ワイヤレスシンクロ可能 ・光量比制御は、対応のフラッシュが2台以上必要

撮影機能

カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
明瞭コントロール	-4.0 ~ +4.0
肌色補正	Type1 / Type2 / オフ
HDR撮影	オート / Type1 / Type2 / Type3 / アドバンスドHDR / オフ、振り幅設定可、自動位置調整可
Real Resolution	オン / オフ ・動体補正オン / オフの選択可能
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正
D-Range設定	ハイライト補正、シャドー補正
ノイズリダクション	長時NR、高感度NR
自動水平補正	SRオン時：最大1.0度まで補正可能、SRオフ時：最大1.5度まで補正可能
構図微調整	上下左右シフト調整範囲±1mm (回転時は±0.5mm)、回転調整範囲±1度
電子水準器	ファインダー内表示 (左右の傾き)、画像モニター表示 (左右・前後の傾き)

プログラムライン	オート、標準、高速優先、深度優先 (深い)、深度優先 (浅い)、MTF 優先
----------	--

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV)
記録サイズ フレームレート	 (1920×1080、60i / 50i / 30p / 25p / 24p)、  (1280×720、60p / 50p)
フォーカス	方式：コントラスト検出式 AFモード：シングルAF (AFS)、コンティニウスAF (AF.C) ・コンティニウスAF (AF.C) は、対応レンズ装着時に有効 AFエリア：多点オート、セレクト、スポット フォーカスアシスト：エッジ強調 / エッジ抽出 / オフ
音声	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能 (ステレオ録音)、録音レベル調整可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示 (6、12、20、35、80画面)、拡大 (最大16倍まで、クイック拡大可)、グリッド表示 (16分割、黄金分割、スケール、正方 (小)、正方 (大) 線種：黒 / 白選択可能)、回転表示、ヒストグラム表示 (Yヒストグラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、著作権情報表示 (撮影者名、著作権者名)、GPS情報 (緯度、経度、高度、協定世界時)、方位、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショー
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去
デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラマチックアート、デッサン、水彩画、パステル、ボスタリゼーション、ミニチュア、ソフト、クロス、フィッシュアイ、スリム、モノトーン

RAW展開	RAW画像選択：1画像選択/複数画像選択/フォルダー選択 RAW展開パラメーター：ホワイトバランス、カスタムイメージ、増感感、明瞭コントロール、肌色補正、デジタルフィルター、HDR撮影、Real Resolution、シャドー補正、高感度NR、ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正、プリング補正、記録形式（JPEG、TIFF）、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画質、色空間
編集機能	画像回転、色モアレ補正、リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可、傾き修正可）、動画編集（分割および不要部分削除）、動画フレーム画像JPEG保存、バッファRAW保存

カスタマイズ機能

USERモード	最大5件まで登録可
機能ダイヤル	C1、C2、C3 ISO感度、露出補正、ブラケット幅、カスタムイメージ、AFモード、AFエリア、フォーカスアシスト、プログラムライン、シャッターモード、記録サイズ変更（静止画は□/M/S/XS、動画はFull/HD/1080）、ローパスセレクト、グリッド表示、情報表示切替、画像表示拡大、アウトドアモニター
カスタムファンクション	24項目
モードメモリ	18項目
カスタムボタン	Fx1 ボタン（露出補正、ISO感度、プレビュー、AEロック、測距点移動、ワンタッチRAW+、電子水準器、Wi-Fi、赤色画面表示、キーロック） Fx2 / Fx3 ボタン（露出補正、ISO感度、プレビュー、AEロック、測距点移動、ワンタッチRAW+、電子水準器、キーロック） AF/AF-L ボタン（AF作動1、AF作動2、AFキャンセル、AEロック） 露出モード別電子ダイヤルカスタマイズ各種
オートフォーカスカスタマイズ	AF.Sの動作：フォーカス優先/リリース優先から選択可 AF.C1コマ目の動作：オート/フォーカス優先/リリース優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作：オート/フォーカス優先/コマ速優先から選択可 AFホールド：オフ/弱/中/強から選択可 インターバル撮影中のAF：フォーカスロックする/フォーカスロックしないから選択可
キーロック機能	Type1：撮影待機中の露出に関する設定変更を禁止 Type2：撮影待機中の▲▼◀▶/OK/MENUを無効
文字サイズ	標準、大きい

ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整（最大20本まで登録可）
インジケーター	セルフタイマー：オン/オフから選択可 GPSユニットのランプ：オン/オフから選択可
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC167J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数...フラッシュ 50%発光：約390枚、フラッシュ発光なし：約420枚 再生時間...約270分 * 満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0（micro Bタイプ）、外部電源端子、ステレオマイク入力端子（3.5mm径、ケーブルスリット端子兼用）
USB接続	MSC/PTP
映像出力	USB/外部映像出力端子 * SlimPort®-HDMI®変換アダプターを使用

無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数（中心周波数）	2412MHz～2462MHz（1ch～11ch）
セキュリティ	認証方式：WPA2 暗号化方式：AES

外形寸法・質量

外形寸法	約131.5mm（幅）×101.0mm（高）×76.0mm（厚）（突起部を除く）
質量	約703g（バッテリー、SDカードを含む）、約643g（本体のみ）

動作環境

使用温度	-10～40°C
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

同梱物	ストラップ O-ST162、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109、充電器 D-BC109、ACコード、ソフトウェア (CD-ROM) S-SW167、使用説明書 <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ Fr、ホットシューカバー Fk、ボディマウントキャップ KII、三角環・キズ防止カバー、グリップ S O-GP167、バッテリーグリップ接点カバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

別売アクセサリ対応

GPSユニット	O-GPS1：GPS情報（緯度、経度、標高、協定世界時）、方位、電子コンパス、アストロトレーサー
ケーブルスイッチ	CS-310
バッテリーグリップ	D-BG7
グリップ	グリップS：O-GP167 グリップM：O-GP1671 グリップL：O-GP1672

撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率 50%	使用率 100%	
D-LI109	23°C	約420枚	約390枚	約360枚	約270分

- ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

(8GBのメモリーカード使用時)

記録サイズ	JPEG画質			PEF
	★★★	★★	★	
L 24M	527枚	1192枚	2339枚	151枚
M 14M	889枚	1996枚	3837枚	—
S 6M	1964枚	4309枚	7923枚	—
XS 2M	4723枚	9824枚	16374枚	—

- ・撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

都市名一覧

現在地／目的地として以下の都市が設定できます

地域	都市名
北米	ホノルル／アンカレジ／バンクーバー／サンフランシスコ／ロサンゼルス／カルガリー／デンバー／シカゴ／マイアミ／トロント／ニューヨーク／ハリファックス
中南米	メキシコシティ／リマ／サンティアゴ／カラカス／ブエノスアイレス／サンパウロ／リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン／マドリッド／ロンドン／パリ／アムステルダム／ミラノ／ローマ／コペンハーゲン／ベルリン／プラハ／ストックホルム／ブダペスト／ワルシャワ／アテネ／ヘルシンキ／モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール／アルジェ／ヨハネスブルグ／イスタンブール／カイロ／エルサレム／ナイロビ／ジッタ／テヘラン／ドバイ／カラチ／カブール／マレー／デリー／コロombo／カトマンズ／ダクン
東アジア	ヤンゴン／バンコク／クアラルンプール／ビエンチャン／シンガポール／プノンペン／ホーチミン／ジャカルタ／香港／北京／上海／マニラ／台北／ソウル／東京／グアム
オセアニア	パース／アデレード／シドニー／ヌーメア／ウェリントン／オークランド／パゴパゴ

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付属のCD-ROM (S-SW167) からインストールができます。本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows®

OS	Windows® 10 (32bit／64bit) ／Windows® 8.1 (32bit／64bit) ／Windows® 8 (32bit／64bit) ／Windows® 7 (32bit／64bit)
CPU	Intel® Core™ 2 Duo以上
メモリ	4GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1 ファイルあたり約10MB (JPEG) または約30MB (RAW) 程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.12 ／ OS X 10.11 ／ OS X 10.10 ／ OS X 10.9 ／ OS X 10.8
CPU	Intel® Core™ 2 Duo以上
メモリ	4GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1 ファイルあたり約10MB (JPEG) または約30MB (RAW) 程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

●メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、MOVファイル／AVIファイルに対応している動画再生ソフトを使用してください。

記号

☑メニュー	24
📷メニュー	29
📺メニュー	31
🔍メニュー	32
Cメニュー	34
🔍モード	52
📷/📺/🔍レバー	44, 46, 52

数字

1画像表示	17, 47
1コマ撮影	64

A

ACアダプター	40
AdobeRGB	48
AEロック	51
A.F.A.	60
A.F.C.	60
A.F.C 1コマ目の動作	59
A.F.C連続撮影中の動作	59
A.F.S.	60
A.F.Sの動作	59, 61
AF/AE-Lボタン	102
AF/MF レバー	44, 59
AFエリア	60, 62
AFカブラー	10
AF微調整	63
AFフレーム	45, 46
AFホールド	59
AF補助光	60
AF補助光ランプ	10
AFモード	60, 62
AFロック時のAE-L	34
ASTROPHOTO	48
AUTO モード	44

AV機器	85
Av ブラケット	67
Av モード	49

B

B時の撮影方法	51
B モード	49

C

CTE (ホワイトバランス)	72
-----------------------	----

D

DC入力端子	40
Digital Camera Utility 5	91, 131
DNG	48
D-Range設定	76

E

Exifデータ	113
---------	-----

F

Fx1/Fx2/Fx3ボタン	102
----------------	-----

G

GPS/電子コンパス	121
GPSユニット	121

H

HDMI®端子	85
HDR LANDSCAPE	48
HDR撮影	77

I

Image Sync	94
IMAGE Transmitter 2	93

ISO感度	54
ISO感度ステップ	54

J

JPEG	48
JPEG画質	48
JPEG記録サイズ	48

L

Language/言語	42
LCD設定	107

M

Macintosh	131
MACRO	48
MANUAL LENS	48
Movie SR	29
MSC	92
M モード	49

P

PEF	48
PTP	92
P モード	49

R

RAW	48
RAW追加保存	45, 47
RAW展開	90
RAWファイル形式	48
Real Resolution	78
RGBヒストグラム	18

S

SDメモリーカード	40
Shake Reduction	25
SlimPort®	85
sRGB	48

SRの自動オフ	64
Sv モード	49

T

TAv モード	49
TIFF	90
TTL位相差検出式	59
Tv ブラケット	68
Tv モード	49

U

USB/外部映像出力兼用端子	10
USB接続	92, 131
USB端子	92
USERモード登録	108

W

WBの光源調整範囲	72
Wi-Fi™	93
Windows®	131

あ

アウトドアモニター	108
赤色画面表示	122
赤目軽減強制発光	57
赤目軽減自動発光	57
赤目軽減スローシンクロ	57
明るさ補正	76
鮮やか (カスタムイメージ)	74
アストロトレーサー	121
アスペクト比	86, 90
後幕シンクロ	57
アフターサービス	139

い	ガイドナンバー	58	クイックビュー表示	26	撮影情報表示選択	16
位相差AF	ガイド表示	45	クリーニング	124	撮影待機状態	13
色温度 (ホワイトバランス)	外部映像出力	85	グリッド表示	26, 47	撮影日別表示	83
..... 73	顔検出 (AFエリア)	62	グリップ	36	撮影メニュー	24
色温度ステップ	拡大表示	46, 47	クロス (デジタルフィルタ)	87	撮影モード	48
色空間	加工	86	クロスプロセス (カスタムイメージ)	74		
色抽出 (デジタルフィルター)	画質	48	クロスプロセス登録	75		
..... 75, 87	画質補正	78			し	
色の置換え (デジタルフィルター)	カスタマイズ	22, 102			シーンアナライズオートモード	44
..... 75, 87	カスタムイメージ	74			シェーディング (デジタルフィルター)	75, 87
色モアレ補正	カスタムメニュー	34	け		時刻切替	114
インジケーター	画像閲覧 (Image Sync)	94	ケーブルスイッチ	53	質感補正	78
インターバル合成	 94		ケーブルスイッチ端子	53	自動時刻修正	121
インターバル撮影	画像回転	84	ケルビン	73	自動水平補正	25
インターバル撮影中のAF	画像仕上	74	言語設定	42	自動発光	57
..... 71	画像の自動回転	84	現在地	42, 114	視度調整レバー	19
インターバル撮影の動作	画像モニター	13, 41	現像	90	絞り値	49
..... 71	合焦マーク	45			絞り優先自動露出	49
インターバル動画	画面表示	31, 43	こ		絞りリング付きレンズ	118
..... 70	感度	54	光学プレビュー	104	絞りリングの使用	118
	感度AUTO設定	55	高感度NR	55	シャープネス (カスタムイメージ)	74
え	感度優先自動露出	49	構図微調整	80	シャッター&絞り優先自動露出	49
エラーメッセージ			光量補正	57	シャッター速度	49
..... 125			コンティニuasモード (AFモード)	60	シャッターモード	52
お			コントラスト (カスタムイメージ)	74	シャッター優先自動露出	49
オート (AFエリア)	き		コントラスト検出式	59	シャドウ補正	76
オートWB (ホワイトバランス)	キー操作ロック	51	コントローラー発光	120	十字キー	12, 20
..... 72	キーロックの動作	51	コントロールパネル	15, 21	十字キーの機能	61
オートセレクト (カスタムイメージ)	輝度ヒストグラム	18			充電	38
..... 74	機能ダイヤル	21, 105			充電時間	38
オートパワーオフ	キャッチインフォーカス	119			充電中のリリース	58
..... 42	キャリブレーション	121	さ		周辺光量補正	77
オートフォーカス	強制発光	57	サイズ変更	86	仕様	126
音声	記録形式	48	再生音量	54	消去	47
音量	記録サイズ	48	再生情報表示選択	17	詳細情報表示	17
	記録設定	48	再生メニュー	31	詳細設定メニュー	32
か	銀残し (カスタムイメージ)	74	再生モード	47	焦点距離入力	119
カード	 74		再生モードパレット	81		
カードアクセスランプ	く		撮影	44		
..... 10	クイック拡大	47	撮影可能枚数	130		
回折補正	クイックビュー	45	撮影者名	113		
..... 77						
回転						
..... 84						
回転情報の記録						
..... 84						
回転方向設定						
..... 107						

初期化.....	44
初期設定.....	42
白とび警告.....	17, 26
シングルモード (AFモード)	60
人物 (カスタムイメージ)	74
す	
スーパーインポーズ.....	19
水彩画 (デジタルフィル ター).....	87
スターストリーム.....	70
ステータススクリーン.....	14
ストラップ.....	36
スピーカー.....	10
スポット (AFエリア)	60, 62
スポット測光.....	57
スマートファンクション	21, 105
スマートフォン.....	93
スライドショー.....	84
スリム (デジタルフィル ター).....	87
スローシンクロ.....	57
せ	
精密キャリブレーション	121
設定ダイヤル.....	21
セルフタイマー.....	65
セルフタイマーランプ.....	10
セレクト (AFエリア)	60, 62
セレクトエリア拡大 (AFエ リア).....	60
全画像消去.....	31
全画像プロテクト.....	110
センサークリーニング..	124
選択消去.....	82

そ	
ゾーンセレクト (AFエリア)	60
増減感.....	90
像面位置マーク.....	10
測距点.....	60
測距点と露出の関連付.....	57
測光作動時間.....	19
測光方式.....	57
外付けフラッシュ.....	120
その他の表示.....	26
ソフト (デジタルフィル ター).....	87
ソリッドモノカラー (デジ タルフィルター).....	75, 87
た	
ダイナミックレンジ.....	76
タイマー露光.....	51
ダイヤル.....	11
ダイヤル指標.....	45
太陽光 (ホワイトバランス)	72
ダイレクトキー.....	20
多重露出.....	69
ダストリムーバー.....	123
多点オート (AFエリア)	62
ち	
中央重点測光.....	57
昼光色蛍光灯 (ホワイトバ ランス).....	72
昼白色蛍光灯 (ホワイトバ ランス).....	72
長秒時NR.....	50
著作権者名.....	113
著作権情報.....	113
沈胴式レンズ.....	46

つ	
追尾 (AFエリア).....	62
通信情報.....	94
通信端末.....	94
吊り環.....	36
て	
ディストーション補正.....	77
デザー撮影.....	93
デジタルフィルター..	75, 87
デジタルレビュー.....	104
デッサン (デジタルフィル ター).....	87
電球色蛍光灯 (ホワイトバ ランス).....	72
電源.....	42
電子音.....	32
電子コンパス.....	16, 121
電子シャッター.....	52
電子水準器.....	16, 20
電子ダイヤル.....	106
天体撮影.....	121
と	
トイカメラ (デジタルフィ ルター).....	75, 87
動画編集.....	89
動画メニュー.....	29
動画モード.....	52
動作環境.....	131
都市名.....	42, 131
ドライブモード.....	64
ドラマチックアート (デジ タルフィルター).....	87
トリミング.....	86
曇天 (ホワイトバランス)	72
な	
内蔵フラッシュ.....	10, 57

ナチュラル (カスタマイ メージ).....	74
夏時間.....	42, 114
に	
日時設定.....	43
認証マーク.....	137
ね	
ネガポジ反転 (デジタル フィルター).....	75, 87
の	
ノイズリダクション..	50, 55
は	
バージョン情報.....	33
ハードモノクローム (デジ タルフィルター).....	75, 87
ハイコントラスト (デジタ ルフィルター).....	75, 87
配色.....	43
ハイスピードシンクロ撮影	120
ハイライト補正.....	76
倍率色収差補正.....	77
白色蛍光灯 (ホワイトバラ ンス).....	72
白熱灯 (ホワイトバランス)	72
白熱灯下のオートWB..	72
パステル (デジタルフィル ター).....	87
パソコン.....	92
肌色補正.....	78
バッテリー.....	38
バッテリーグリップ.....	39
バッテリーグリップ接点..	10
バッテリー選択.....	39
バッファRAW保存.....	47
バルブ撮影.....	51

バルブ露出 49

ひ

日陰 (ホワイトバランス) 72
ピクセルマッピング 123
被写界深度 51
被写界深度ブラケット 67
ヒストグラム表示 18, 26
表示スタイル 43

ふ

ファイルNo. 113
ファイル形式 48
ファイル名 112
ファインダー 19
ファインダー撮影 44
ファインダー撮影時AF 59
ファインダー内表示 26
フィッシュアイ (デジタル
フィルター) 87
フィルター 75, 87
風景 (カスタムイメージ)
..... 74
フォーカスアシスト 61
フォーカスモード 59
フォーマット 44
フォルダー新規作成 111
フォルダー表示 83
フォルダー名 111
複数画像表示 82
付属ソフトウェア 131
ブラケット撮影 66
ブラケット撮影順 66
フラッシュ 57, 120
フラッシュ発光時のWB 72
フラット (カスタムイメー
ジ) 74
フリッカー低減 26
フリンジ補正 90
フレームレート 48

プレビュー 51, 104
プログラム自動露出 49
プログラムライン 50
プロテクト 110
分割測光 57
分割表示 47, 82

へ

ベースメイク (デジタル
フィルター) 87
編集 86

ほ

保護 110
ボスタリゼーション (デジ
タルフィルター) 87
補正 76
ボタン 11
ボタンカスタマイズ 102
ホットシュー 10
ポップチューン (カスタム
イメージ) 74
ほのか (カスタムイメージ)
..... 74
ポリウムラベル 44
ホワイトバランス 72

ま

マイク 10, 53
マイク/ケーブルスイッチ
兼用端子 10
マイク端子 53
マウント指標 37
マウント名称 116
マニュアルWB登録 73
マニュアル発光 57
マニュアルホワイトラン
ス 73
マニュアル露出 49
マルチパターンオートWB
(ホワイトバランス) 72

み

ミニチュア (デジタルフィ
ルター) 87
雅 (MIYABI) (カスタマイ
メージ) 74
ミラー 10
ミラーアップ撮影 69
ミレッド 73

む

無線LAN 93

め

明瞭コントロール 78
メカシャッター 52
メニュー 23
メニュー選択の記憶 23
メモリーカード 40

も

モーションブラケット 68
モードダイヤル 45
モードダイヤルロックボタ
ン 45
モードメモリ 110
モアレ低減 79
目的地 114
文字サイズ 42
文字入力 109, 111
モノトーン (カスタマイ
メージ) 74
モノトーン (デジタルフィ
ルター) 87

ら

ライブビュー 14
ライブビュー撮影 46
ライブビュー撮影時AF 61
ライブビュー表示 14

り

リアルレゾリューションシ
ステム 78
リサイクル 39
リサイズ 86
リセット 33, 35
リバーサルフィルム (カス
タムイメージ) 74
リモート撮影 (Image Sync)
..... 94

れ

レトロ (デジタルフィル
ター) 75, 87
レバー 11
レンズ 37, 116
レンズ焦点距離 119
レンズ情報接点 10
レンズ取り外しボタン 37
レンズ補正 77
連続再生 84
連続撮影 65
連動外の自動補正 34
連番設定 113

ろ

ローパスセクター 79
ローパスフィルター 79
録音レベル 53
録画可能時間 52
露出設定ステップ 50
露出補正 56
露出モード 49, 109

わ

ワールドタイム 114
ワイヤレス発光 57
ワンタッチRAW+ 103
ワンタッチブラケット
..... 66

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておく、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にご使用をお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC109専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。
- 回クラスII機器（バッテリー充電器は、二重絶縁構造です。）

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでぐるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は-10～40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもあります。これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、速やかに乾いた布等で拭き取ってご使用ください。
- 雨や水滴が付着した状態でレンズの着脱をしないでください。レンズやカメラの内部に水分が入り込むと故障の原因となります。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブローアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。（有料）
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- 防錆剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき



- ・長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようしてください。
- ・SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

無線LAN機能について

- ・電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- ・データはお客様の責任において管理してください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、該当マークを画面に表示することができます。

認証マークの表示方法

▼5メニュー「認証マーク」で電波法ならびに電気通信事業法に基づく基準適合マークを表示できます。メニューの操作については、「メニューで設定する」(p.23)を参照してください。

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、macOS、OS X、App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Google、Google Play、Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標です。
- iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
- DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- SILKYPPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンスの商標または登録商標です。
- Analogix、SlimPortは、アナロジックス・セミコンダクターの商標または登録商標です。
- MHL、MHLのロゴ、および Mobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL, LLCの商標または登録商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

- 本製品は株式会社リコーがデザイン制作したリコー RT Fontを使用しています。
 - 本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
- PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
 - (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
- 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
- 詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (C) 1994-1998 T. Teranishi

(C) 2004-2016 TeraTerm Project

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理いたしますので、ご購入店が使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかりと梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後1年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・ 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
 - ・ 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - ・ 火災・天災・地変等による故障
 - ・ 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
 - ・ 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - ・ お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

フォトスクール・写真クラブのご案内	http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/
ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。	
ペンタックスリコーファミリークラブ事務局	TEL 03-3348-2945 FAX 03-3345-8076
〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）リコーイメージングスクエア新宿内 営業時間 10：30～18：30（火・土・日・祝日および弊社特別休業日を除く）	
リコーイメージングオンラインストア	http://store.ricoh-imaging.co.jp/
製品はもちろん、純正アクセサリや各種オリジナルグッズを販売しています。	
ショールーム・ギャラリーのご案内	http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/
リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可）	TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076
〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階） 営業時間 10：30～18：30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）	
リコーイメージングスクエア銀座	TEL 03-3289-1521
東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9階 営業時間 11：00～19：00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）	
リコーイメージングスクエア大阪（修理受付可）	TEL 06-6271-7996（代） FAX 06-6271-3612
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階 営業時間 10：30～18：30（毎週日曜日、祝日、弊社特別休業日を除く）	

ユーザー登録のお願い

<https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx>

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
 付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

お客様相談センター**ナビダイヤル 0570-001313**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008 (代)

営業時間 9:00～17:30 (平日) 10:00～17:00 (土・日・祝日) (年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>**修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み****ナビダイヤル 0570-001301**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014 (代)

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】**TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158**

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター【窓口】**TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147**

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社**〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6 (株) リコー大森事業所内**

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

54313

R01DTL16

Printed in Philippines